



足立区

学校保健統計書

令和6年度

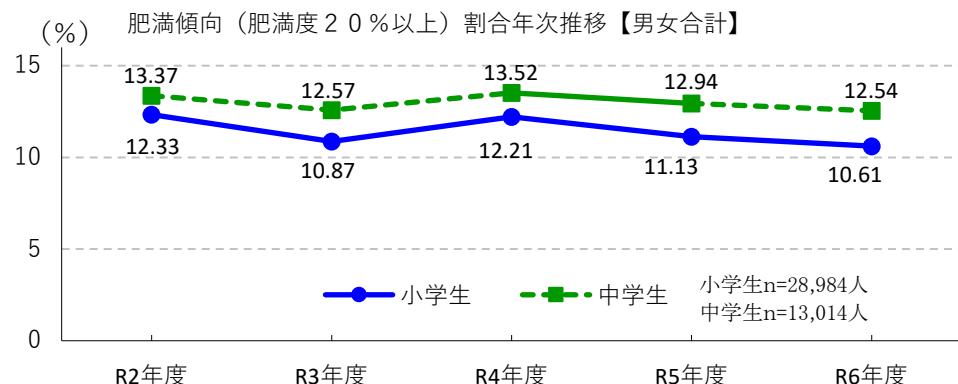
目 次

令和6年度 学校保健統計報告書概要	1
1 児童・生徒の発育状態	
(1) 身体測定（身長・体重）の平均値	3
(2) 肥満度集計	5
2 貧血・小児生活習慣病予防健診	
(1) 貧血・小児生活習慣病予防健診（中学生）	9
(2) 貧血・小児生活習慣病予防健診（小学生）	16
卷末【資料1】貧血・小児生活習慣病予防健診 判定基準	44
3 定期健康診断疾病異常調査	
(1) 定期健康診断の受診状況	20
(2) 四肢異常	20
(3) 視力検査	21
(4) 聴力検査	22
(5) アレルギー性疾患	23
(6) 結核検診	27
(7) 心臓疾患検診	28
(8) 尿検査（腎臓検診・糖尿病検診）	29
(9) 歯科健診	31
卷末【資料2】定期健康診断疾病異常調査の概要	45
【資料3】定期健康診断疾病異常調査 調査データの集計	48
4 脊柱側わん症検診	
脊柱側わん症検診結果	36
5 就学時健康診断	
就学時健康診断結果	37
6 児童・生徒の感染症り患状況	
(1) 調査の概要	38
(2) 月別患者数	38
(3) 過去3年間の主な感染症り患状況	39
7 学校管理下における災害統計	
(1) 災害発生状況	40
(2) 災害共済掛金および給付状況	43

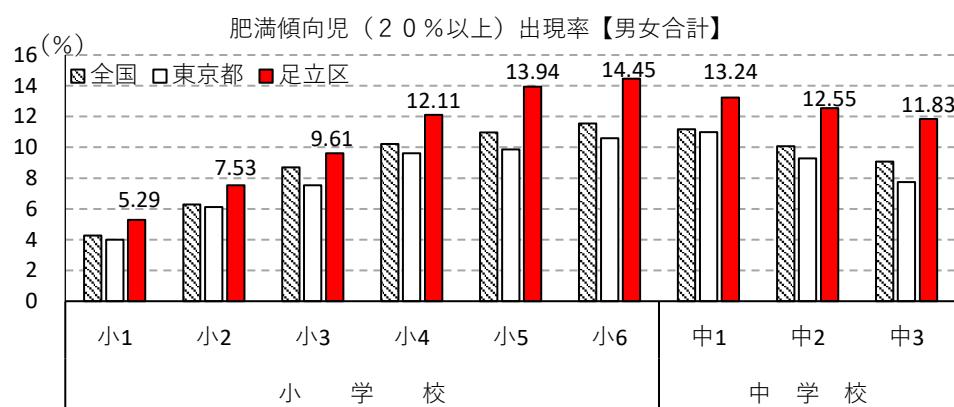
令和6年度 学校保健統計報告書概要

1 児童・生徒の発育状態 【P 3～8】

(1) 肥満傾向(肥満度20%以上)の割合は、過去5年間で横ばいで推移している。

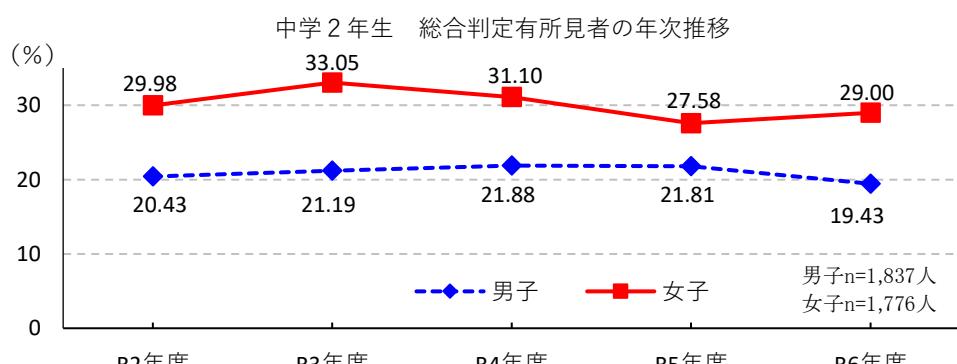


(2) すべての学年で肥満傾向の割合が全国・東京都を上回った。



2 貧血・小児生活習慣病予防健診 【P 9～19】

中学2年生の総合判定結果は、男子の5. 1人に1人、女子の3. 4人に1人が有所見者[※]だった。前年度と比較して男子は約2ポイントの減、女子は約1ポイントの増となつた。



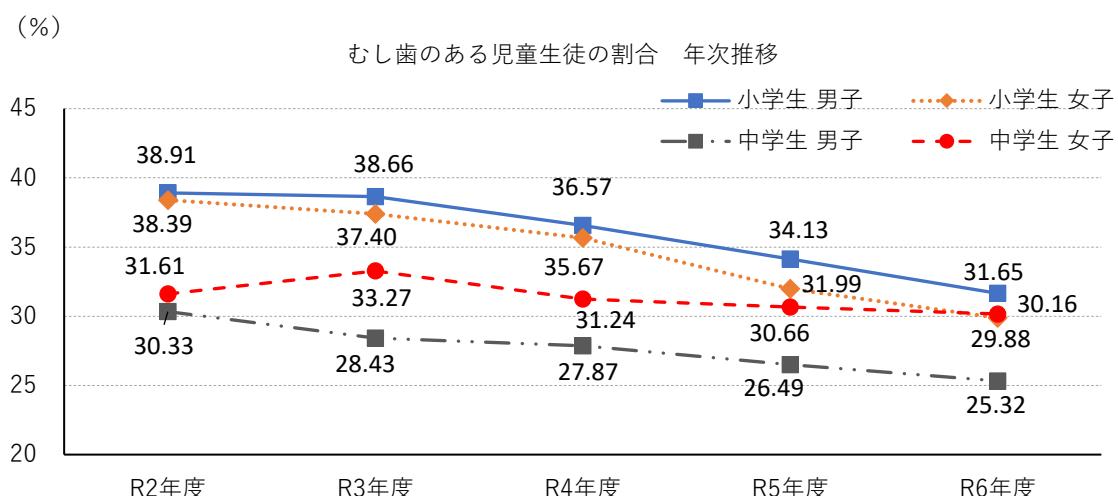
※ 有所見とは正常・管理不要以外の診断だったもの。

3 視力・聴力検査 【P21・22】

- (1) 裸眼視力1.0未満の割合は男子よりも女子の方が高かった。また、東京都との比較では、男女ともにほぼすべての学年で東京都の割合を上回った(P21参照)。
- (2) 聴力検査による難聴者の割合は、全体で0.63%程度で前年度と比べると横ばいであった(P22参照)。

4 歯科保健 【P31～35】

- (1) 全国との比較では、男女ともにむし歯被患率がほぼすべての学年で下回ったが、東京都との比較では、ほぼすべての学年で上回った(P31参照)。
- (2) 小学生・中学生ともに、むし歯のある生徒の割合は過去5年間で最も低くなつた。



5 感染症り患状況 【P38・39】

- (1) インフルエンザ患者数は、11月から増え始め、12月をピークに減少していった。学級閉鎖数は61学級となつた(P39参照)。
- (2) 溶連菌感染症※の罹患数は、4月から6月にかけてピークとなつた(P39参照)。

※溶連菌感染症… 主にA群溶血レンサ球菌という菌が原因の感染症。主にのどや皮膚に感染して引き起こされ、一般的な疾患は、学童期によく見られる急性咽頭炎、乳幼児に多くみられる伝染性膿痂疹(とびひ)などがある。

6 学校管理下における災害統計 【P40～43】

過去5年間の災害発生件数および発生率は、小学生・中学生ともに概ね横ばいであつた(P40参照)。

※ 数字の単位未満は四捨五入を原則とした。
したがつて、合計と内訳の計の数字が一致しない場合がある。

1 児童・生徒の発育状態

(1) 身体測定（身長・体重）の平均値

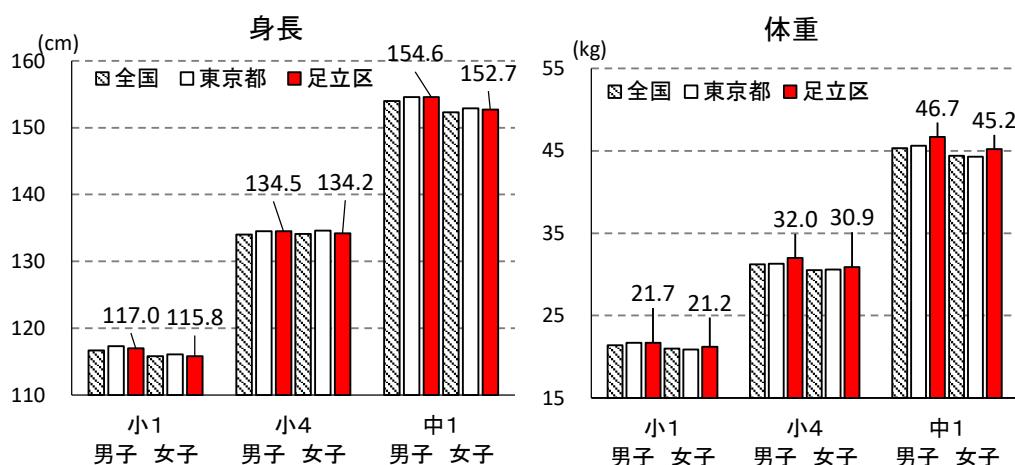
東京都および全国の平均値と比較すると、身長・体重ともに大差はみられないが、体重はすべての学年で男女ともに全国を上回った。

表1 全国・東京都との比較

区分		身 長 (cm)		体 重 (kg)			
年齢	性別	足立区	東京都	全 国	足立区	東京都	全 国
小 学 生	小1 男子	117.0	117.3	116.7	21.7	21.7	21.4
	小1 女子	115.8	116.1	115.8	21.2	20.9	21.0
	小2 男子	123.1	123.0	122.6	24.6	24.3	24.2
	小2 女子	122.0	122.4	121.8	24.0	24.0	23.7
	小3 男子	129.1	129.0	128.5	28.2	27.9	27.6
	小3 女子	128.3	128.6	127.7	27.3	27.1	26.9
	小4 男子	134.5	134.5	134.0	32.0	31.3	31.2
	小4 女子	134.2	134.6	134.1	30.9	30.6	30.5
	小5 男子	140.2	140.6	139.7	36.2	35.6	35.2
	小5 女子	141.5	142.0	141.1	35.8	35.5	35.0
中 学 生	小6 男子	146.8	146.7	146.0	41.2	39.8	39.6
	小6 女子	148.1	148.3	147.8	40.8	40.1	40.1
	中1 男子	154.6	154.6	154.0	46.7	45.6	45.3
	中1 女子	152.7	152.9	152.3	45.2	44.3	44.4
	中2 男子	161.8	161.9	161.1	51.5	50.9	50.5
	中2 女子	155.2	155.5	155.0	48.4	47.0	47.5
中 学 生	中3 男子	166.5	166.5	166.1	56.6	55.0	55.0
	中3 女子	156.5	157.1	156.4	50.1	49.3	49.6

全国・東京都：文部科学省学校保健統計調査（無作為抽出）

図1 全国・東京都との比較



全国・東京都：文部科学省学校保健統計調査（無作為抽出）

表2 年次推移 【身長の平均値】

単位 (cm)

	男子						女子					
	H13年度	H18年度	H23年度	H28年度	R3年度	R6年度	H13年度	H18年度	H23年度	H28年度	R3年度	R6年度
小1	116.9	116.9	116.8	116.8	116.9	117.0	115.9	115.9	115.8	115.4	115.8	115.8
小3	128.3	128.4	128.6	128.5	128.7	129.1	127.6	127.7	127.4	127.6	128.1	128.3
小5	139.5	139.2	139.2	139.2	139.8	140.2	140.3	140.1	140.5	140.5	141.3	141.5
中1	153.2	152.9	152.7	153.4	154.3	154.6	152.4	152.5	152.0	152.2	152.3	152.7
中3	165.6	165.3	165.5	165.8	166.3	166.5	156.9	156.7	156.5	156.8	156.9	156.5

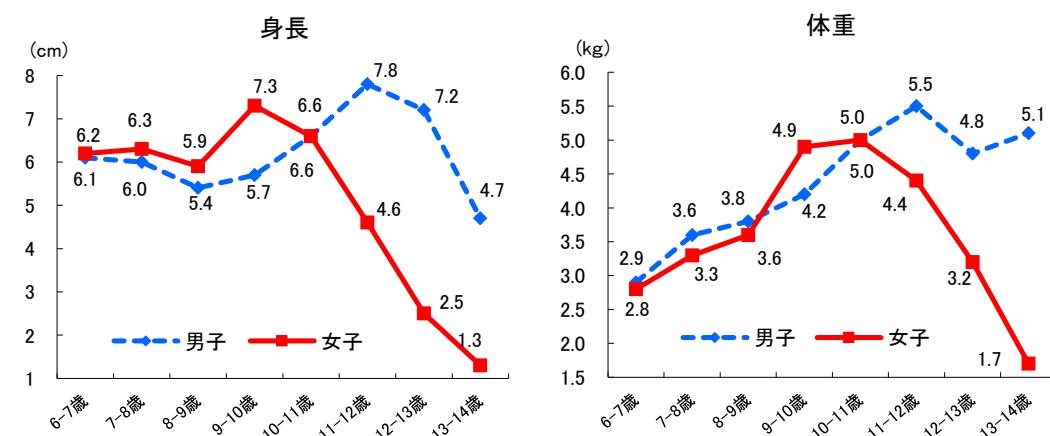
表3 年次推移 【体重の平均値】

単位 (kg)

	男子						女子					
	H13年度	H18年度	H23年度	H28年度	R3年度	R6年度	H13年度	H18年度	H23年度	H28年度	R3年度	R6年度
小1	21.9	22.0	21.7	21.8	21.9	21.7	21.4	21.2	21.0	20.9	21.3	21.2
小3	28.1	27.9	27.6	27.5	28.5	28.2	27.2	27.0	26.7	26.9	27.4	27.3
小5	36.0	35.8	34.4	34.6	36.2	36.2	35.6	34.9	34.5	34.7	35.7	35.8
中1	46.3	45.9	45.0	45.2	46.6	46.7	45.6	45.3	44.1	44.9	45.0	45.2
中3	57.5	55.9	55.7	54.6	56.0	56.6	51.4	51.0	50.2	50.6	50.9	50.1

平成13年度から5年ごとの数値および最新の数値である。身長・体重とともに、これまでと大きな差はない。

図2 年齢間の差（1年間の身長・体重の伸び）



男子の身長が最も伸びた時期は11～12歳であり、体重が最も増えた時期も11～12歳であった。女子については、身長が最も伸びた時期が9～10歳であり、体重が最も増えた時期は10歳～11歳であった。

身長・体重ともに、女子の方が成長のピークが早く、性別による違いがある。

(2) 肥満度集計

肥満度による肥満傾向の割合は、男女ともにすべての学年で全国・東京都を上回っていた。また、男子は小学6年生、女子は小学5年生がピークであった。

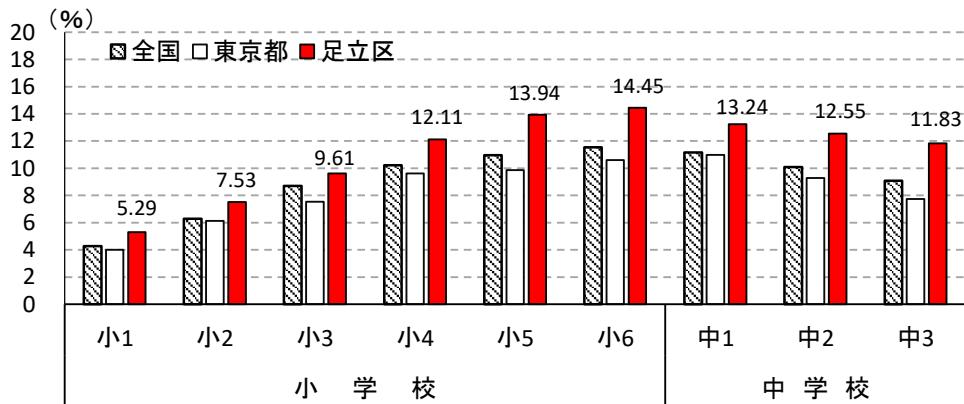
女子は特に中学1年生の瘦身傾向の割合が、全国・東京都よりも多かった。

表4 肥満度 【男女合計】

単位 上段(人) / 下段(%)

肥満度 (%)	小1 4,572	小2 4,598	小3 4,838	小4 4,962	小5 4,935	小6 5,078	小学校 合計(人) 28,984	中1 4,366	中2 4,278	中3 4,369	中学校 合計(人) 13,014
(再)20以上 合計	242 5.29	346 7.53	465 9.61	601 12.11	688 13.94	734 14.45	3,076 10.61	578 13.24	537 12.55	517 11.83	1,632 12.54
肥満傾向 50以上	17 0.37	29 0.63	42 0.87	55 1.11	64 1.30	90 1.77	297 1.02	83 1.90	66 1.54	92 2.11	241 1.85
30~49	81 1.77	138 3.00	178 3.68	232 4.68	267 5.41	291 5.73	1,187 4.10	227 5.20	209 4.89	202 4.62	638 4.90
20~29	144 3.15	179 3.89	245 5.06	314 6.33	357 7.23	353 6.95	1,592 5.49	268 6.14	262 6.12	223 5.10	753 5.79
普通	-19~19 4,313 94.34	4,226 91.91	4,323 89.36	4,260 85.85	4,133 83.75	4,198 82.67	25,453 87.82	3,594 82.30	3,591 83.94	3,704 84.78	10,889 83.67
瘦身傾向 -29~-20	15 0.33	26 0.57	50 1.03	100 2.02	113 2.29	141 2.78	445 1.54	186 4.26	142 3.32	141 3.23	469 3.60
-49~-30	2 0.04	0 0.00	1 0.02	1 0.02	5 0.02	5 0.10	10 0.03	8 0.18	8 0.19	7 0.16	23 0.18

図3 肥満傾向児（20%以上）出現率 【男女合計】



肥満度 (%) = (実測体重 - 身長別標準体重) / 身長別標準体重 × 100

肥満傾向児とは、肥満度が20%以上の者

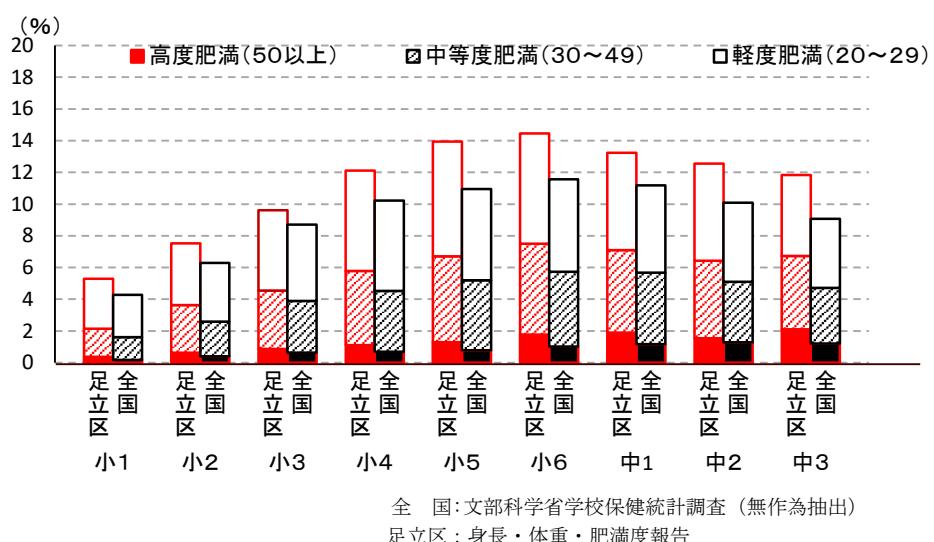
瘦身傾向児とは、肥満度が-20%以下の者

普通児とは、肥満度が-20%超~20%未満の者

全国・東京都：文部科学省学校保健統計調査（無作為抽出）

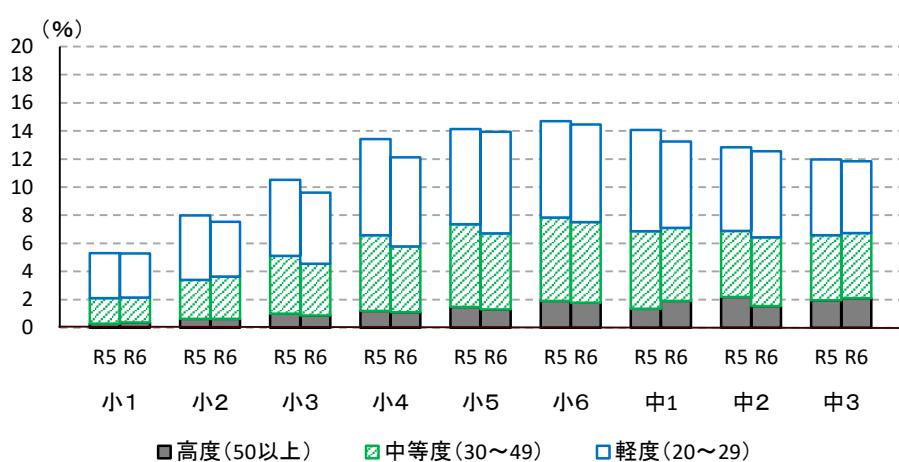
表5・図4 肥満度 【男女合計】 重度・中等度・軽度内訳 全国比較

		高度肥満(50以上)		中等度肥満(30~49)		軽度肥満(20~29)	
		足立区	全国	足立区	全国	足立区	全国
小 学 生	小1	0.37	0.18	1.77	1.44	3.15	2.65
	小2	0.63	0.41	3.00	2.18	3.89	3.70
	小3	0.87	0.64	3.68	3.26	5.06	4.80
	小4	1.11	0.69	4.68	3.83	6.33	5.70
	小5	1.30	0.78	5.41	4.41	7.23	5.76
	小6	1.77	1.02	5.73	4.71	6.95	5.83
中 学 生	中1	1.90	1.17	5.20	4.50	6.14	5.51
	中2	1.54	1.29	4.89	3.81	6.12	4.98
	中3	2.11	1.21	4.62	3.50	5.10	4.36



肥満度 20 %以上の内訳について全国と比較すると、すべての学年、分類が全国を上回った。小学生は学年が上がるにつれて高度肥満の割合が増加した。

図5 肥満度 【男女合計】 令和5年度との比較



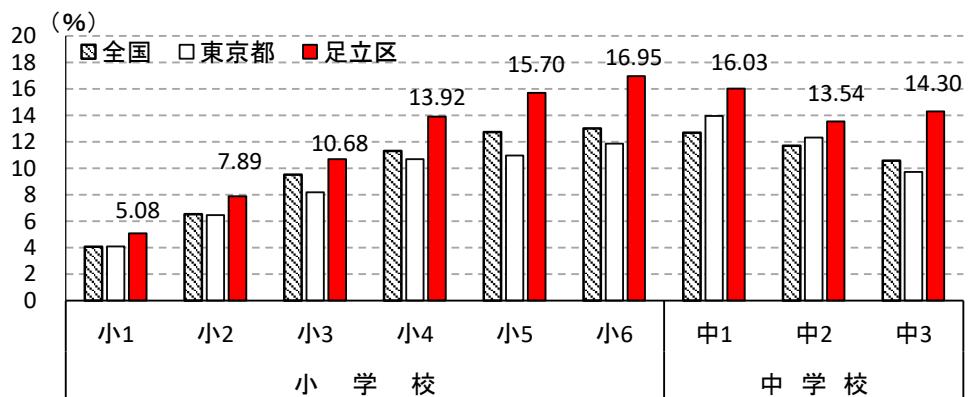
前年度との比較では、小1以外の学年で割合が減少した。

表6 肥満度 【男子】

単位 上段(人) / 下段(%)

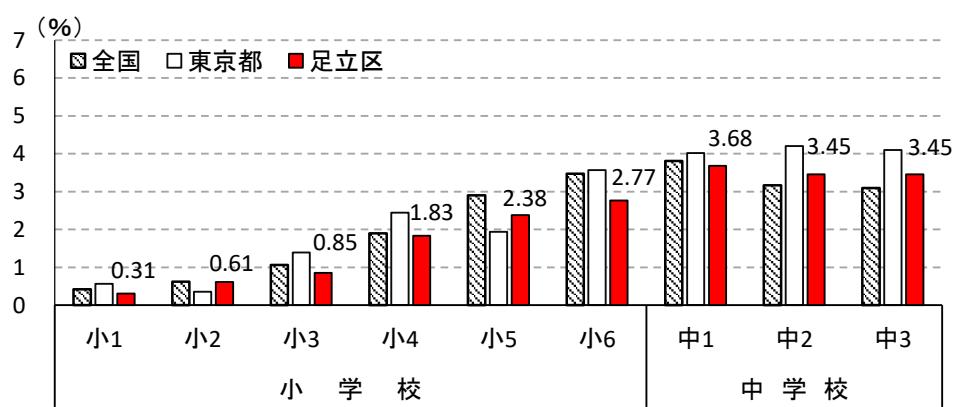
肥満度 (%)	小1 2,266	小2 2,295	小3 2,472	小4 2,515	小5 2,561	小6 2,566	小学校 合計(人) 14,676	中1 2,202	中2 2,171	中3 2,259	中学校 合計(人) 6,632	
肥満傾向	(再)20以上 合計	115 5.08	181 7.89	264 10.68	350 13.92	402 15.70	435 16.95	1,747 11.90	353 16.03	294 13.54	323 14.30	970 14.63
	50以上	10 0.44	20 0.87	27 1.09	36 1.43	44 1.72	57 2.22	194 1.32	51 2.32	44 2.03	70 3.10	165 2.49
	30~49	38 1.68	80 3.49	103 4.17	148 5.88	153 5.97	184 7.17	706 4.81	137 6.22	117 5.39	132 5.84	386 5.82
	20~29	67 2.96	81 3.53	134 5.42	166 6.60	205 8.00	194 7.56	847 5.77	165 7.49	133 6.13	121 5.36	419 6.32
	普通	2,144 94.62	2,100 91.50	2,188 88.51	2,119 84.25	2,098 81.92	2,060 80.28	12,709 86.60	1,768 80.29	1,802 83.00	1,858 82.25	5,428 81.85
	-29~-20	6 0.26	14 0.61	20 0.81	45 1.79	61 2.38	68 2.65	214 1.46	78 3.54	71 3.27	76 3.36	225 3.39
	-49~-30	1 0.04	0 0.00	1 0.04	1 0.04	0 0.00	3 0.12	6 0.04	3 0.14	4 0.18	2 0.09	9 0.14

図6 肥満傾向児（20%以上）出現率 【男子】



全国・東京都：文部科学省学校保健統計調査（無作為抽出）

図7 痩身傾向児（-20%以下）出現率 【男子】



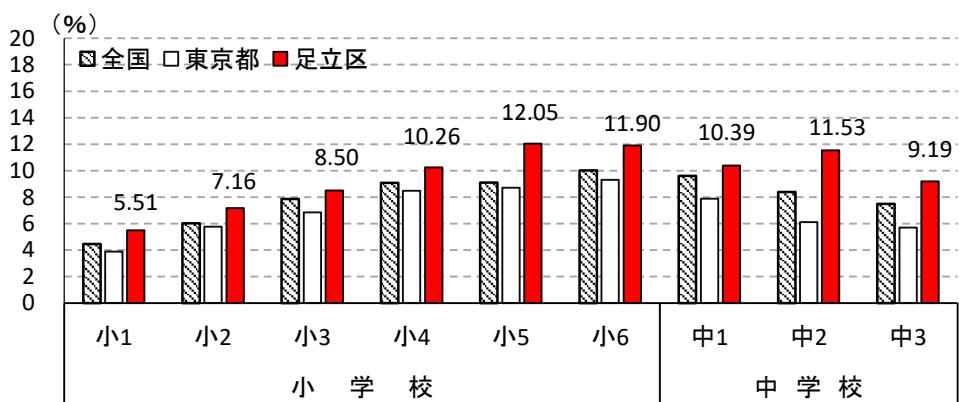
全国・東京都：文部科学省学校保健統計調査（無作為抽出）

表7 肥満度 【女子】

単位 上段(人) / 下段(%)

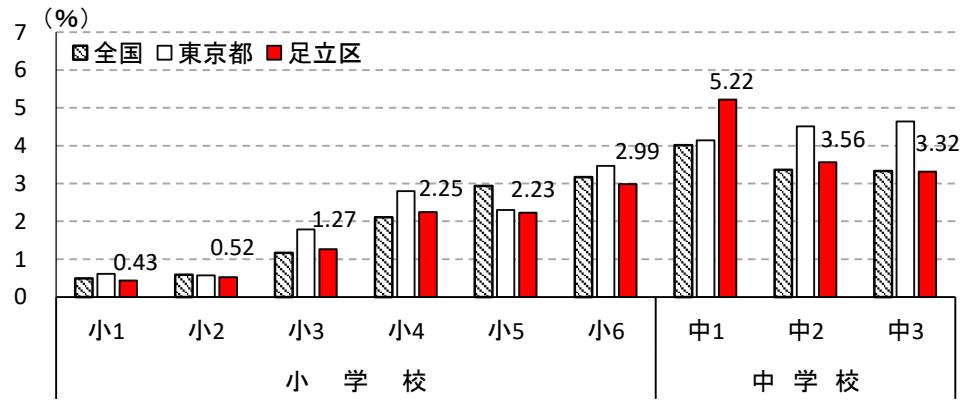
肥満度 (%)	小1 2,306	小2 2,303	小3 2,366	小4 2,447	小5 2,374	小6 2,512	小学校 合計(人) 14,308	中1 2,164	中2 2,107	中3 2,110	中学校 合計(人) 6,381
(再) 20以上 合計	127	165	201	251	286	299	1,329	225	243	194	662
	5.51	7.16	8.50	10.26	12.05	11.90	9.29	10.39	11.53	9.19	10.37
肥 満 傾 向	50以上	7	9	15	19	20	33	103	32	22	22
	0.30	0.39	0.63	0.78	0.84	1.31	0.72	1.48	1.04	1.04	1.19
	30~49	43	58	75	84	114	107	481	90	92	70
	1.86	2.52	3.17	3.43	4.80	4.26	3.36	4.16	4.37	3.32	3.95
	20~29	77	98	111	148	152	159	745	103	129	102
	3.34	4.26	4.69	6.05	6.40	6.33	5.21	4.76	6.12	4.83	5.23
普 通	-19~-19	2,169	2,126	2,135	2,141	2,035	2,138	12,744	1,826	1,789	1,846
	94.06	92.31	90.24	87.49	85.72	85.11	89.07	84.34	84.91	87.49	85.57
瘦 身 傾 向	-29~-20	9	12	30	55	52	73	231	108	71	65
	0.39	0.52	1.27	2.25	2.19	2.91	1.61	4.99	3.37	3.08	3.82
	-49~-30	1	0	0	0	1	2	4	5	4	5
	0.04	0.00	0.00	0.00	0.04	0.08	0.03	0.23	0.19	0.24	0.22

図8 肥満傾向児 (20%以上) 出現率 【女子】



全国・東京都：文部科学省学校保健統計調査（無作為抽出）

図9 痩身傾向児 (-20%以下) 出現率 【女子】



全国・東京都：文部科学省学校保健統計調査（無作為抽出）

2 貧血・小児生活習慣病予防健診

(1) 貧血・小児生活習慣病予防健診（中学生）

思春期、成長期における小児生活習慣病及び貧血の予防および早期発見を目的として実施している。

検査内容：肥満度、血圧、血清脂質〔総コレステロール、HDL-コレステロール、LDL-コレステロール〕、

ヘモグロビンA1c、糖尿病歴（学校申告）

貧血検査：白血球数、赤血球数、血色素量、赤血球容積比(Hct)等

対象者：①中学2年生

受診者数3,613人（対象者数4,379人 受診率82.5%）

②前年度の小児生活習慣病予防健診で要医学的管理・要経過観察・

ヘモグロビンA1c 5.6%以上と判定された中学3年生

受診者数598人（対象者数727人 受診率82.3%）

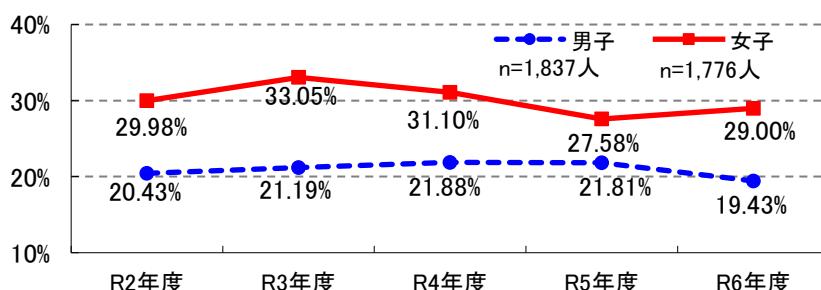
判定基準：卷末【資料1】のとおり

ア 総合判定結果

表8 貧血・小児生活習慣病予防健診（中学生）総合判定結果集計

		受診者数	要医学的管理	要経過観察	要生活指導	単位 上段(人) / 下段(%)
全受診者	男子	2,164	98 4.53	191 8.83	247 11.41	586 27.08
	女子	2,047	71 3.47	209 10.21	377 18.42	465 22.72
	計	4,211	169 4.01	400 9.50	624 14.82	1,051 24.96
中学2年	男子	1,837	51 2.78	112 6.10	194 10.56	516 28.09
	女子	1,776	48 2.70	148 8.33	319 17.96	414 23.31
	計	3,613	99 2.74	260 7.20	513 14.20	930 25.74
中学3年	男子	327	47 14.37	79 24.16	53 16.21	70 21.41
	女子	271	23 8.49	61 22.51	58 21.40	51 18.82
	計	598	70 11.71	140 23.41	111 18.56	121 20.23
						正常
						1,042 48.15
						925 45.19
						1,967 46.71
						964 52.48
						847 47.69
						1,811 50.12
						78 23.85
						78 28.78
						156 26.09

図10 中学2年生【要医学的管理・要経過観察・要生活指導と判定された者】の割合年次推移



中学2年生の総合判定の有所見者（要医学的管理・要経過観察・要生活指導と判定された者）は、男子は5.1人に1人、女子は3.4人に1人であった。

（参考）健診の変遷

平成4年度	対象は中学1年生と前年度「II要経過観察」判定の中学生3校でモデル実施としてスタート
平成8年度	指定校を5校に拡大
平成14年度	対象を中学2年生と前年度「II要経過観察」判定の中学生3年生へ変更全中学校に拡大
平成28年度	前年度「I要医学的管理」判定の中学生3年生を対象に追加
平成29年度	前年度「ヘモグロビンA1c 5.6%以上」の中学生3年生を対象に追加

イ 各検査項目結果

(ア) 肥満度 (全体の傾向については、前章P 5～P 8を参照)

表9 判定結果集計

単位 上段(人) / 下段(%)

肥満度指數(%)		痩せ型	標準型	肥満型		
		-20以下	-19～19	(軽度) 20～29	(中等度) 30～49	(高度) 50以上
全受診者	男子 2,164	79 3.65	1,719 79.44	144 6.65	146 6.75	76 3.51
	女子 2,047	92 4.49	1,719 83.98	119 5.81	93 4.54	24 1.17
	計 4,211	171 4.06	3,438 81.64	263 6.25	239 5.68	100 2.37
中2	男子 1,837	71 3.86	1,539 83.78	112 6.10	81 4.41	34 1.85
	女子 1,776	84 4.73	1,524 85.81	99 5.57	55 3.10	14 0.79
	計 3,613	155 4.29	3,063 84.78	211 5.84	136 3.76	48 1.33
中3	男子 327	8 2.45	180 55.05	32 9.79	65 19.88	42 12.84
	女子 271	8 2.95	195 71.96	20 7.38	38 14.02	10 3.69
	計 598	16 2.68	375 62.71	52 8.70	103 17.22	52 8.70

図11 中学2年生の肥満度分布

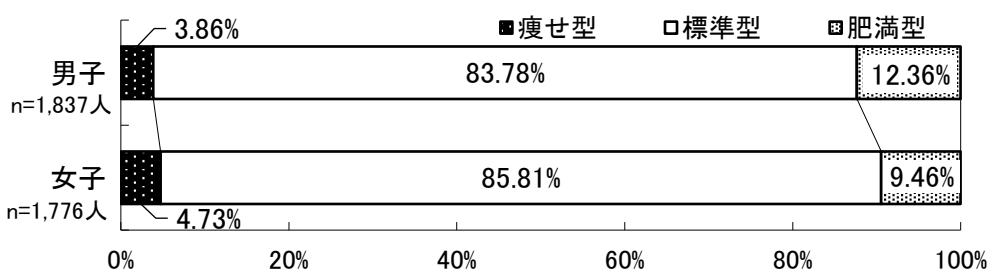
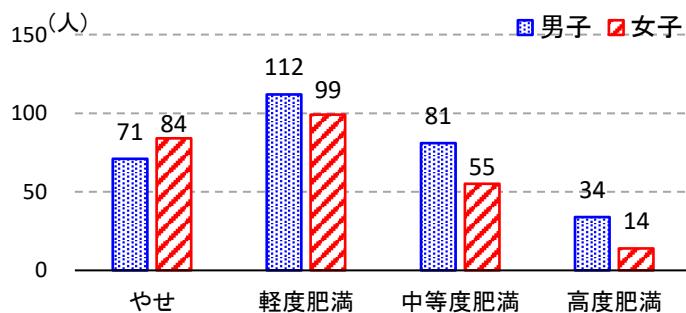
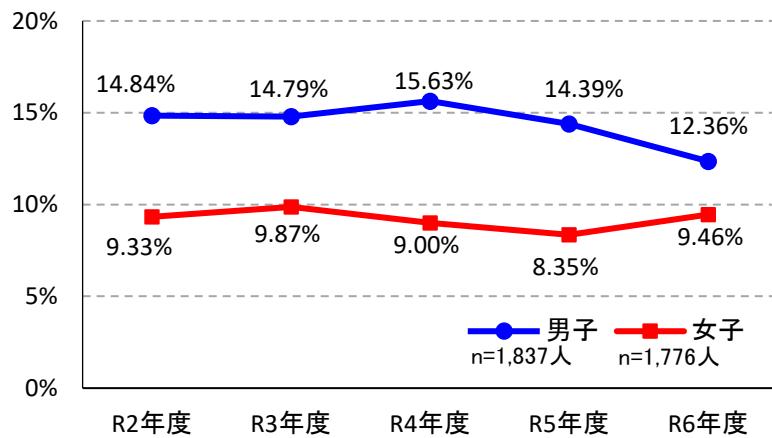


図12 中学2年生のやせ型・肥満型の人数



やせ型は女子に多く、肥満型は男子に多かった。

図13 中学2年生【肥満型と判定された者】の割合年次推移

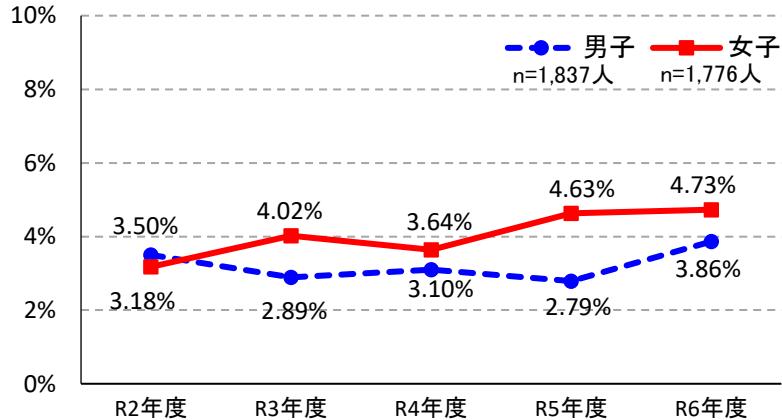


肥満型と判定された者の割合は、男女を比較すると前年度と同様、男子の割合が高く、男子の8.1人に1人が肥満型であった。ただし、前年度と比較して、男子は約2ポイント減少している。

(参考) 肥満傾向児年次推移【全国】						単位 (%)
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
男子	12.18	10.99	12.25	11.93	11.69	
女子	8.53	8.35	9.05	8.50	8.38	

文部科学省学校保健統計調査

図14 中学2年生【やせ型と判定された者】の割合年次推移



やせ型と判定された者の割合は、前年度と比較して男子が約1ポイント増加した。

(参考) 痩身傾向児年次推移【全国】						単位 (%)
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
男子	2.99	2.73	2.59	2.64	3.17	
女子	3.2	3.22	3.28	3.36	3.56	

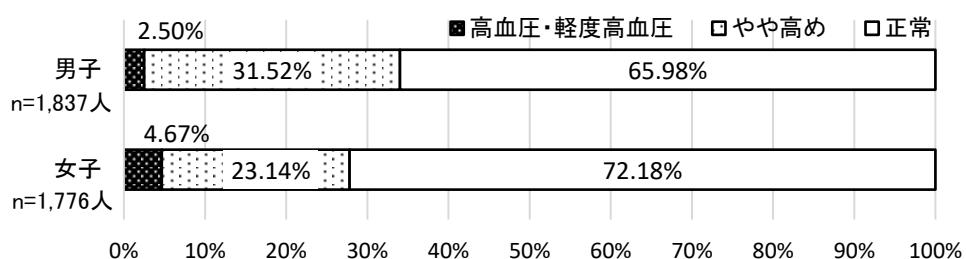
文部科学省学校保健統計調査

(イ) 血圧測定

表10 血圧測定判定結果集計

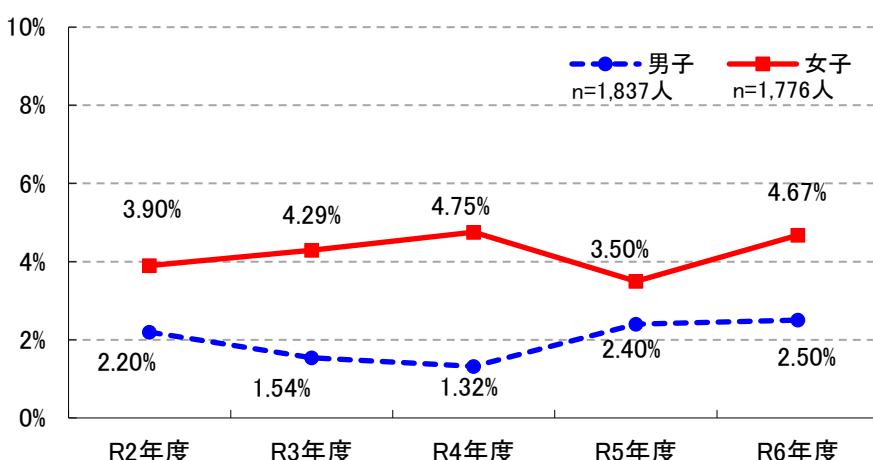
		単位 上段(人) / 下段(%)				血压判定基準値	
全受診者	検査人数	高血圧	軽度高血圧	やや高め	正常	男子	高血圧 150/95mmHg以上
	男子	2,164	10 0.46	64 2.96	740 34.20	1,350 62.38	軽度高血圧 140/85mmHg以上
	女子	2,047	24 1.17	89 4.35	487 23.79	1,447 70.69	やや高め 120/70mmHg以上
中学2年	計	4,211	34 0.81	153 3.63	1,227 29.14	2,797 66.42	正常 120/70mmHg未満
	男子	1,837	5 0.27	41 2.23	579 31.52	1,212 65.98	女子
	女子	1,776	18 1.01	65 3.66	411 23.14	1,282 72.18	高血圧 145/90mmHg以上
中学3年	計	3,613	23 0.64	106 2.93	990 27.40	2,494 69.03	軽度高血圧 135/80mmHg以上
	男子	327	5 1.53	23 7.03	161 49.24	138 42.20	やや高め 120/70mmHg以上
	女子	271	6 2.21	24 8.86	76 28.04	165 60.89	正常 120/70mmHg未満
計		598	11 1.84	47 7.86	237 39.63	303 50.67	

図15 中学2年生の血圧測定判定結果割合



血圧がやや高め以上の割合は、男子は2.9人に1人、女子は3.6人に1人であった。

図16 中学2年生【高血圧・軽度高血圧と判定された者】の割合年次推移



(ウ) 血清脂質検査※

※血液中の脂質の濃度を調べる検査

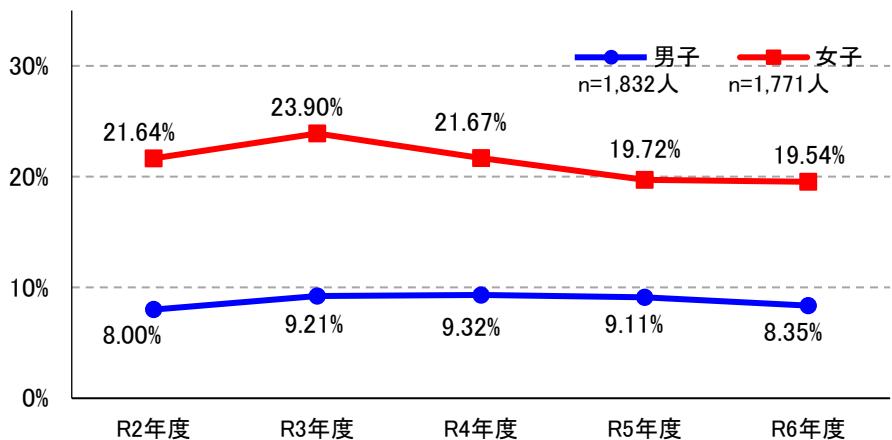
表11 血清脂質検査の判定結果集計

単位 上段(人) / 下段(%)

		検査人数	かなりの異常	異常	異常傾向	やや異常傾向	正常
全受診者	男子	2,158	13 0.60	32 1.48	167 7.74	201 9.31	1,745 80.86
	女子	2,041	22 1.08	70 3.43	339 16.61	254 12.44	1,356 66.44
	計	4,199	35 0.83	102 2.43	506 12.05	455 10.84	3,101 73.85
中2	男子	1,832	11 0.60	20 1.09	122 6.66	158 8.62	1,521 83.02
	女子	1,771	16 0.90	49 2.77	281 15.87	219 12.37	1,206 68.10
	計	3,603	27 0.75	69 1.92	403 11.19	377 10.46	2,727 75.69
中3	男子	326	2 0.61	12 3.68	45 13.80	43 13.19	224 68.71
	女子	270	6 2.22	21 7.78	58 21.48	35 12.96	150 55.56
	計	596	8 1.34	33 5.54	103 17.28	78 13.09	374 62.75

図17 中学2年生の血清脂質検査判定結果の年次推移

【かなりの異常・異常・異常傾向と判定された者の割合】



血清脂質の有所見者（かなりの異常・異常・異常傾向と判定された者）の割合は、思春期ではホルモンの変化により、女子の方が高くなる傾向にあるが、女子は男子に比べて2倍以上高く、5. 1人に1人であった。前年度と比較すると、男子・女子ともに微減した。

(工) ヘモグロビンA1c検査※

※ヘモグロビンA1c検査は、過去1～2ヶ月間の平均的血糖値を反映する検査

表12 ヘモグロビンA1c検査の判定結果集計

		検査人数	単位 上段(人) / 下段(%)			
全受診者	性別		a 高値 6.5%以上	b 高値 6.0～6.4%	d 正常高値 5.6～5.9%	n 正常範囲 5.5%以下
	男子	2,157	0 0.00	4 0.19	264 12.24	1,889 87.58
中学2年	女子	2,041	0 0.00	6 0.29	198 9.70	1,837 90.00
	計	4,198	0 0.00	10 0.24	462 11.01	3,726 88.76
	男子	1,832	0 0.00	2 0.11	198 10.81	1,632 89.08
中学3年	女子	1,771	0 0.00	4 0.23	134 7.57	1,633 92.21
	計	3,603	0 0.00	6 0.17	332 9.21	3,265 90.62
	男子	325	0 0.00	2 0.62	66 20.31	257 79.08
中学3年	女子	270	0 0.00	2 0.74	64 23.70	204 75.56
	計	595	0 0.00	4 0.67	130 21.85	461 77.48

表13 ヘモグロビンA1c検査判定基準※ 図18 中学2年生のヘモグロビンA1c検査結果

※病院への受診勧奨基準			
高値	a	6.5%以上	専門医療機関で精密検査を推奨
	b	6.0～6.4%	医療機関（かかりつけ医、学校医）で再検査（空腹時血糖・ヘモグロビンA1c検査）を推奨
正常範囲	d	5.6～5.9%	正常高値（2年生は来年度、学校で再検査）。
	n	5.5%以下	正常範囲内

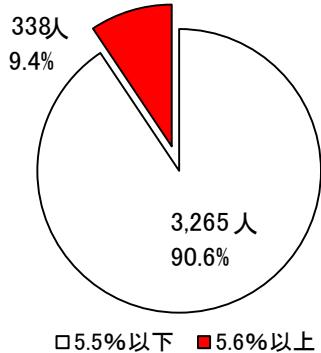


表14 中学2年生 小児生活習慣病有所見者※とヘモグロビンA1c検査結果との関係

小児生活習慣病予防健診有所見者※	872人	24.14%
ヘモグロビンA1c 正常高値以上 (5.6%以上)	338人	9.38%
小児生活習慣病予防健診有所見者※と ヘモグロビンA1c 5.6%以上の重複者	100人	2.78%

※ 生活習慣病予防健診有所見者… I 要医学的管理、II 要経過観察、III 要生活指導と判定された者

ヘモグロビンA1c検査で正常高値以上の割合は、10.7人に1人であり、前年度より増加した。なお、小児生活習慣病予防健診で有所見者となった生徒には、病院への受診勧奨をするとともに、3か月後、6か月後に学校で受診の有無等の確認をしている。

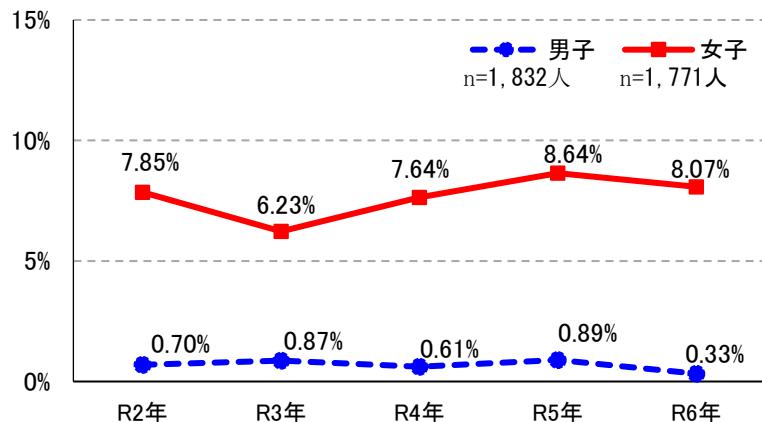
(才) 貧血検査

表15 貧血検査 判定結果集計 単位 上段(人) / 下段(%)

	受診者数	要受診	要再検	正常
全受診者	男子	2,157	8 0.37	26 1.21 98.42
	女子	2,041	168 8.23	9 0.44 91.33
	計	4,198	176 4.19	35 0.83 94.97
中2	男子	1,832	6 0.33	20 1.09 98.58
	女子	1,771	143 8.07	6 0.34 91.59
	計	3,603	149 4.14	26 0.72 95.14
中3	男子	325	2 0.62	6 1.85 97.54
	女子	270	25 9.26	3 1.11 89.63
	計	595	27 4.54	9 1.51 93.95

※ 要再検者は血色素量高値または赤血球・平均赤血球容積(MCV)値異常の者

図19 中学2年生の貧血検査判定結果【要受診者の割合】年次推移



貧血検査の有所見者（要受診と判定された者）は、女子が男子に比べ約8倍多く、女子は12.4人に1人であった。割合は、男女ともに減少した。

(2) 貧血・小児生活習慣病予防健診（小学生）

生活習慣病予防の早期動機づけを行うことを目的とし、令和6年度から小学生を対象に実施を開始した。

検査内容：肥満度、血圧、血清脂質〔総コレステロール、HDL-コレステロール、LDL-コレステロール〕

ヘモグロビン A 1 c

貧血検査：白血球数、赤血球数、血色素量、赤血球容積比等

対象者：下記①②のうち希望者

①小学5年生

受診者数290人（申込者362人、対象者数4,957人 受診率5.9%）

※特に、定期健康診断の計測結果が「肥満度20%以上」または「肥満度-20%以下」の児童を対象に積極的受診勧奨

②前年度の小児生活習慣病予防健診で要医学的管理・要経過観察・ヘモグロビン A 1 c 5.6%以上と判定された小学6年生

受診者数12人（申込者12人、対象者数94人 受診率12.8%）

判定基準：巻末【資料1】のとおり

ア 総合判定結果

表16 貧血・小児生活習慣病予防健診（小学生）総合判定結果集計

単位 上段(人) / 下段(%)

		受診者数	要医学的管理	要経過観察	要生活指導	管理不要	正常
全受診者	男子	167	16 9.58	44 26.35	42 25.15	18 10.78	47 28.14
	女子	135	7 5.19	26 19.26	36 26.67	12 8.89	54 40.00
	計	302	23 7.62	70 23.18	78 25.83	30 9.93	101 33.44
小学5年	男子	162	15 9.26	44 27.16	42 25.93	17 10.49	44 27.16
	女子	128	7 5.47	26 20.31	36 28.13	10 7.81	49 38.28
	計	290	22 7.59	70 24.14	78 26.90	27 9.31	93 32.07
小学6年	男子	5	1 20.00	0 0.00	0 0.00	1 20.00	3 60.00
	女子	7	0 0.00	0 0.00	0 0.00	2 28.57	5 71.43
	計	12	1 8.33	0 0.00	0 0.00	3 25.00	8 66.67

（参考）健診の変遷

令和5年度	5校でモデル実施としてスタート 各校舎で健診を実施
令和6年度	対象を全校に拡大。希望者による事前申込制。 区内2か所、3日間実施

小学5年生の総合判定有所見者（要医学的管理・要経過観察・要生活指導と判定された者）は、男子は1.6人に1人、女子は1.9人に1人であった。

イ 各検査項目結果

(ア) 肥満度

表17 判定結果集計

単位 上段(人) / 下段(%)

肥満度指数(%)		痩せ型	標準型	肥満型		
		-20以下	-19~19	(軽度) 20~29	(中等度) 30~49	(高度) 50以上
全受診者	男子	11 167	74 44.31	31 18.56	38 22.75	13 7.78
	女子	12 135	64 47.41	34 25.19	21 15.56	4 2.96
	計	23 302	138 7.62	65 45.70	59 21.52	17 19.54
小学5年	男子	11 162	70 43.21	31 19.14	38 23.46	12 7.41
	女子	11 128	58 45.31	34 26.56	21 16.41	4 3.13
	計	22 290	128 7.59	65 44.14	59 22.41	16 20.34
小学6年	男子	0 5	4 80.00	0 0.00	0 0.00	1 20.00
	女子	1 7	6 85.71	0 0.00	0 0.00	0 0.00
	計	1 12	10 83.33	0 0.00	0 0.00	1 8.33

図20 小学5年生の肥満度分布

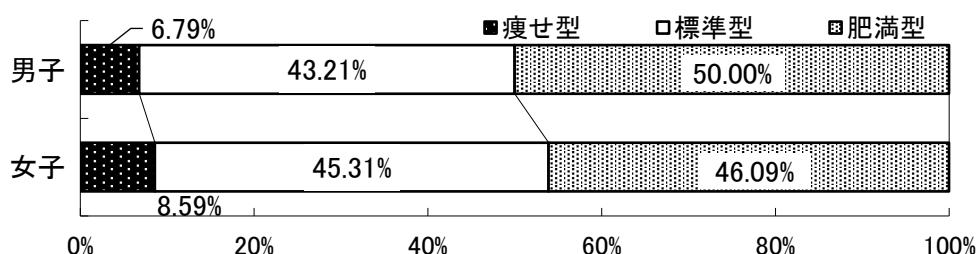
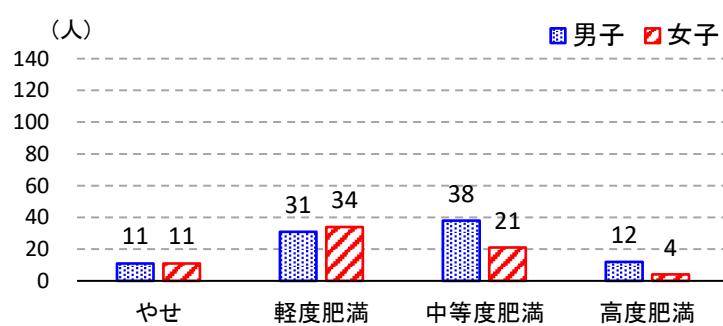


図21 小学5年生のやせ型・肥満型の人数



小学5年生の受診者は、定期健康診断で肥満傾向またはやせ傾向の診断を受けた児童が多いため、肥満型の割合は高くなっています。男子については中等度以上の肥満が肥満型の半分以上を占めていました。

(イ) 血圧測定

表18 血圧測定判定結果集計

		単位 上段(人) / 下段(%)				
		検査人数	高血圧	軽度高血圧	やや高め	正常
全受診者	男子	167	0 0.00	1 0.60	24 14.37	142 85.03
	女子	135	0 0.00	0 0.00	17 12.59	118 87.41
	計	302	0 0.00	1 0.33	41 13.58	260 86.09
小学5年	男子	162	0 0.00	1 0.62	23 14.20	138 85.19
	女子	128	0 0.00	0 0.00	15 11.72	113 88.28
	計	290	0 0.00	1 0.34	38 13.10	251 86.55
小学6年	男子	5	0 0.00	0 0.00	1 20.00	4 80.00
	女子	7	0 0.00	0 0.00	2 28.57	5 71.43
	計	12	0 0.00	0 0.00	3 25.00	9 75.00

血圧判定基準値		
小学生男女	高血圧	145/90mmHg以上
	軽度高血圧	135/80mmHg以上
	やや高め	120/70mmHg以上
	正常	120/70mmHg未満

小学5年生の血圧がやや高め以上の割合は、男子は6. 8人に1人、女子は8. 5人に1人であった。

(ウ) 血清脂質検査※

※血液中の脂質の濃度を調べる検査

表19 血清脂質検査の判定結果集計

単位 上段(人) / 下段(%)

		検査人数	かなりの異常	異常	異常傾向	やや異常傾向	正常
全受診者	男子	165	3 1.82	11 6.67	42 25.45	23 13.94	86 52.12
	女子	132	3 2.27	7 5.30	16 12.12	19 14.39	87 65.91
	計	297	6 2.02	18 6.06	58 19.53	42 14.14	173 58.25
小学5年	男子	160	3 1.88	11 6.88	42 26.25	23 14.38	81 50.63
	女子	125	3 2.40	7 5.60	16 12.80	19 15.20	80 64.00
	計	285	6 2.11	18 6.32	58 20.35	42 14.74	161 56.49
小学6年	男子	5	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	5 100.00
	女子	7	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	7 100.00
	計	12	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	12 100.00

小学5年生の血清脂質の有所見者（かなりの異常・異常・異常傾向と判定された者）の割合は、男子は2. 9人に1人、女子は4. 8人に1人であった。

(エ) ヘモグロビンA1c検査※

※過去1、2か月の平均血糖値を調べる検査

表20 ヘモグロビンA1c検査の判定結果集計

		検査人数	a 高値 6.5%以上	b 高値 6.0～6.4%	d 正常高値 5.6～5.9%	n 正常範囲 5.5%以下
全受診者	男子	165	0 0.00	5 3.03	60 36.36	100 60.61
	女子	132	0 0.00	1 0.76	31 23.48	100 75.76
	計	297	0 0.00	6 2.02	91 30.64	200 67.34
小学5年	男子	160	0 0.00	4 2.50	58 36.25	98 61.25
	女子	125	0 0.00	1 0.80	29 23.20	95 76.00
	計	285	0 0.00	5 1.75	87 30.53	193 67.72
小学6年	男子	5	0 0.00	1 20.00	2 40.00	2 40.00
	女子	7	0 0.00	0 0.00	2 28.57	5 71.43
	計	12	0 0.00	1 8.33	4 33.33	7 58.33

表21 小学5年生 小児生活習慣病有所見者※とヘモグロビンA1c検査結果との関係

小児生活習慣病予防健診有所見者※	170人	58.62%
ヘモグロビンA1c 正常高値以上(5.6%以上)	92人	32.28%
小児生活習慣病予防健診有所見者※と ヘモグロビンA1c 5.6%以上の重複者	74人	25.96%

※ 生活習慣病予防健診有所見者… I 要医学的管理、II 要経過観察、III 要生活指導と判定された者

小児生活習慣予防健診で有所見者となった児童には、病院への受診勧奨をするとともに、3か月後に学校で受診の有無等の確認をしている。

(オ) 貧血検査

表22 貧血検査 判定結果集計

単位 上段(人) / 下段(%)

		受診者数	要受診	要再検	正常
全受診者	男子	164	3 1.83	1 0.61	160 97.56
	女子	132	2 1.52	1 0.76	129 97.73
	計	296	5 1.69	2 0.68	289 97.64
小学5年	男子	159	3 1.89	1 0.63	155 97.48
	女子	125	1 0.80	0 0.00	124 99.20
	計	284	4 1.41	1 0.35	279 98.24
小学6年	男子	5	0 0.00	0 0.00	5 100.00
	女子	7	1 14.29	1 14.29	5 71.43
	計	12	1 8.33	1 8.33	10 83.33

※ 要再検者は血色素量高値または赤血球・平均赤血球容積(MCV)値異常の者

3 定期健康診断疾病異常調査

学校保健安全法に基づく定期健康診断の結果から、小・中学校児童生徒の健康実態を把握することを目的として実施している。概要は、巻末【資料2】のとおり。

(1) 定期健康診断の受診状況

受診率は、小学生は98.4%、中学生は94.5%であった。なお、未受診者は、当日欠席や不登校によるものである。

表23 定期健康診断の受診率学年別受診状況

	単位(人)			単位(人)			単位(%)		
	男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
小1	2,273	2,306	4,579	2,248	2,283	4,531	98.90	99.00	98.95
小2	2,315	2,303	4,618	2,274	2,287	4,561	98.23	99.31	98.77
小3	2,484	2,374	4,858	2,444	2,348	4,792	98.39	98.90	98.64
小4	2,526	2,455	4,981	2,487	2,417	4,904	98.46	98.45	98.45
小5	2,571	2,386	4,957	2,515	2,347	4,862	97.82	98.37	98.08
小6	2,599	2,535	5,134	2,525	2,478	5,003	97.15	97.75	97.45
小学校計	14,768	14,359	29,127	14,493	14,160	28,653	98.14	98.61	98.37
中1	2,237	2,185	4,422	2,147	2,117	4,264	95.98	96.89	96.43
中2	2,237	2,164	4,401	2,112	2,030	4,142	94.41	93.81	94.11
中3	2,355	2,205	4,560	2,194	2,042	4,236	93.16	92.61	92.89
中学校計	6,829	6,554	13,383	6,453	6,189	12,642	94.49	94.43	94.46
小中合計	21,597	20,913	42,510	20,946	20,349	41,295	96.99	97.30	97.14

・在籍者数 令和6年5月1日現在

(2) 四肢異常※

※上肢（手と腕）と下肢（足と脚）の動き等の異常

表24 四肢異常の割合

	単位(%)		
	男子	足立区	東京都
小学生	小1	0.36	0.18
	小2	0.13	0.17
	小3	0.08	0.14
	小4	0.16	0.21
	小5	0.12	0.24
	小6	0.16	0.33
中学生	中1	0.61	0.35
	中2	0.24	0.35
	中3	0.55	0.39
小学生	女子	足立区	東京都
	小1	0.09	0.09
	小2	0.22	0.09
	小3	0.13	0.13
	小4	0.08	0.14
	小5	0.17	0.17
	小6	0.20	0.18
中学生	中1	0.28	0.26
	中2	0.69	0.33
	中3	1.08	0.36

東京都：東京都の学校保健統計書

東京都との比較では、男女ともに学年によりばらつきがあった。

(3) 視力検査

男女とも、学年が上がるにつれ、裸眼視力0.3未満の割合が増えていた。また、すべての学年において、男子よりも女子の方が裸眼視力1.0未満の割合が高かった。

図22・表25 裸眼視力1.0未満の割合【学年別及び東京都比較（男子）】

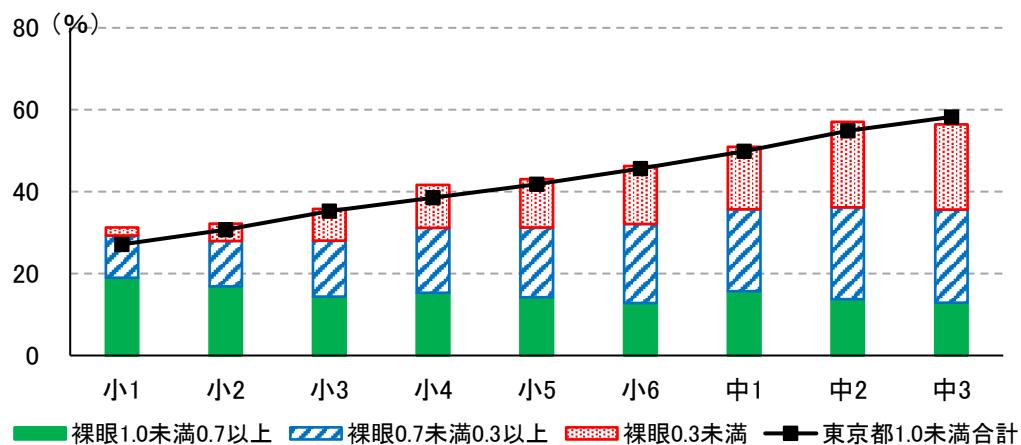
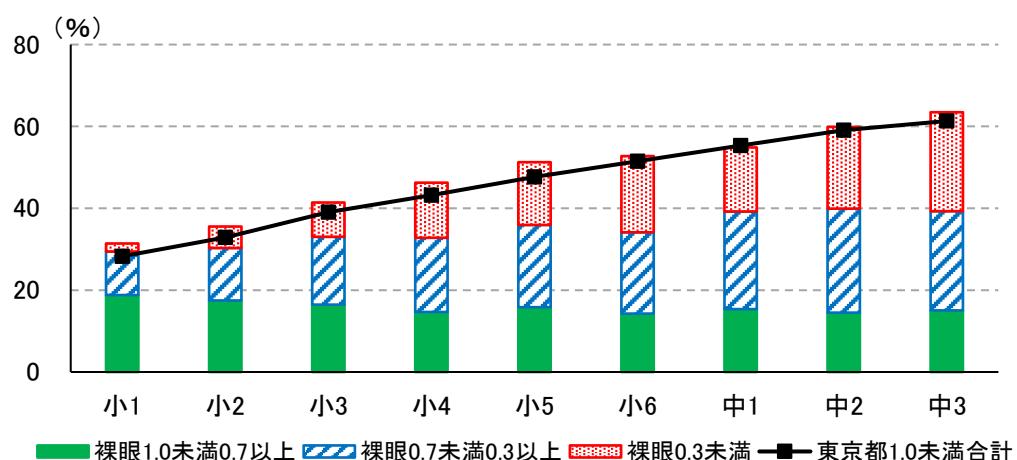


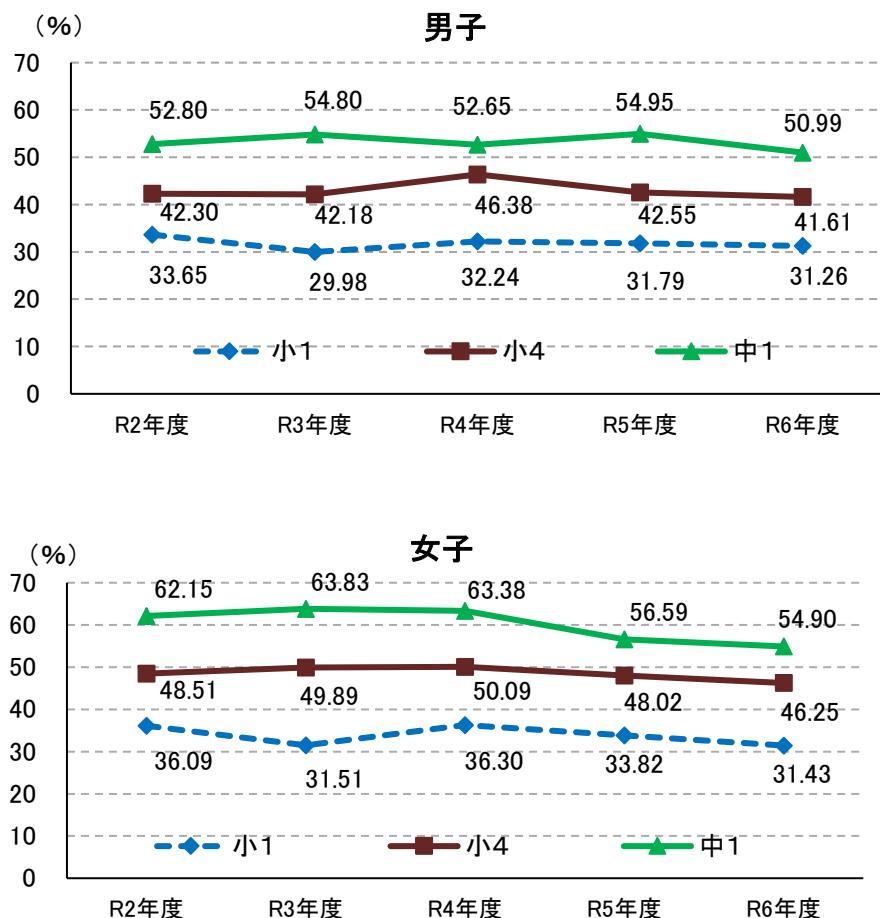
図23・表26 裸眼視力1.0未満の割合【学年別及び東京都比較（女子）】



	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
女子	31.43	35.53	41.38	46.25	51.28	52.76	54.90	59.90	63.48
東京都	28.27	32.88	39.03	43.23	47.65	51.48	55.31	59.06	61.32

東京都：東京都の学校保健統計書

図24 裸眼視力1.O未満の割合年次推移



(4) 聴力検査

聴力検査による難聴者の割合は、全体で0.65%程度であり、前年度と比べると横ばいであった。

表27 難聴者*数の年次推移

単位 上段(人) / 下段(%)

	男 子					女 子				
	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
小1	32 1.25	11 0.44	15 0.61	18 0.78	20 0.88	37 1.56	15 0.61	21 0.89	18 0.78	26 1.13
小2	34 1.31	15 0.59	9 0.36	20 0.81	10 0.44	27 1.07	15 0.63	13 0.53	13 0.55	22 0.96
小3	13 0.50	9 0.35	13 0.51	12 0.48	11 0.45	26 1.01	15 0.59	19 0.80	11 0.45	24 1.02
小5	11 0.40	10 0.38	11 0.42	11 0.43	9 0.35	22 0.86	7 0.27	13 0.51	12 0.48	8 0.34
中1	15 0.63	7 0.29	4 0.17	16 0.73	13 0.59	14 0.66	20 0.92	18 0.84	17 0.80	13 0.60
中3	8 0.39	8 0.35	12 0.51	13 0.56	10 0.44	8 0.40	5 0.23	11 0.53	16 0.75	13 0.62

* 難聴者とは、オージオメータを使用して検査した場合、両耳とも1,000ヘルツにおいて30デシベル、または、4,000ヘルツにおいて25デシベル相当の音が聴取できない者。

* 聴力検査は、小学1～3年生と5年生、中学1年生と3年生で実施している。

(5) アレルギー性疾患

各疾患については、ここ1年以内にその疾患と判定された者、または医療機関で経過観察中の者を、学校医の判定に加え保健調査や日常の健康観察により、把握している。

ア アレルギー性眼疾患

アレルギー性眼疾患の被患率は、男女ともに中学2年生が最も高かった。東京都との比較では、すべての学年で東京都平均を下回っていた。

図25 アレルギー性眼疾患被患率【学年別割合および東京都比較（男子）】

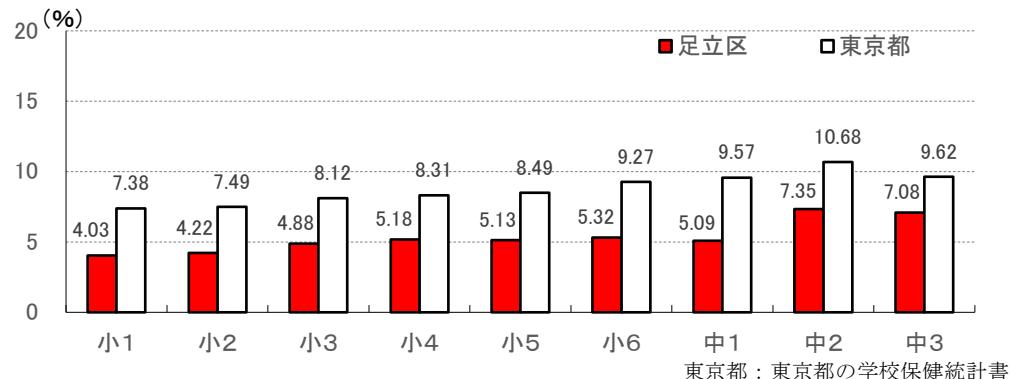


図26 アレルギー性眼疾患被患率【学年別割合および東京都比較（女子）】

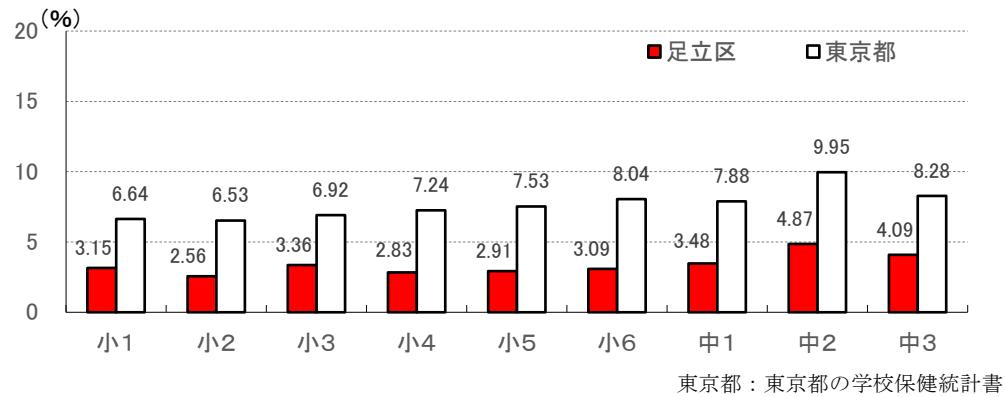


表28 アレルギー性眼疾患被患率の年次推移

単位 受診数・被患数（人）/被患率（%）

	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度		R6年度	
	受診数	被患数 被患率								
小学生	30,359	1,385	30,160	1,426	29,686	1,306	29,074	1,629	28,488	1,114
		4.56		4.73		4.40		5.60		3.91
中学生	12,444	523	13,007	498	12,844	848	12,532	600	12,441	664
		4.20		3.83		6.60		4.79		5.34

被患率は前年度に比べ小学生は減少、中学生は横ばいであった。

イ アレルギー性鼻疾患

アレルギー性鼻疾患の被患率は、男女ともに中学2年生が最も高かった。
また、すべての学年で女子よりも男子の割合が高かった。東京都との比較では、すべての学年で東京都平均を下回っていた。

図27 アレルギー性鼻疾患被患率【学年別割合および東京都比較（男子）】

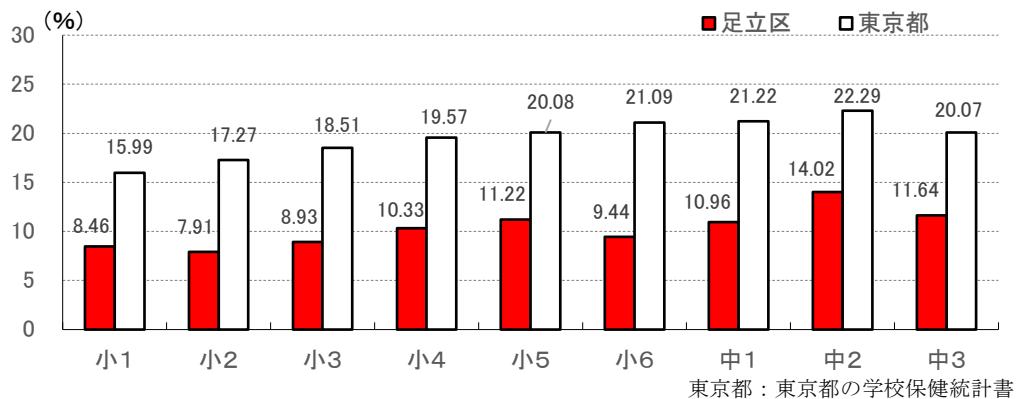


図28 アレルギー性鼻疾患被患率【学年別割合および東京都比較（女子）】

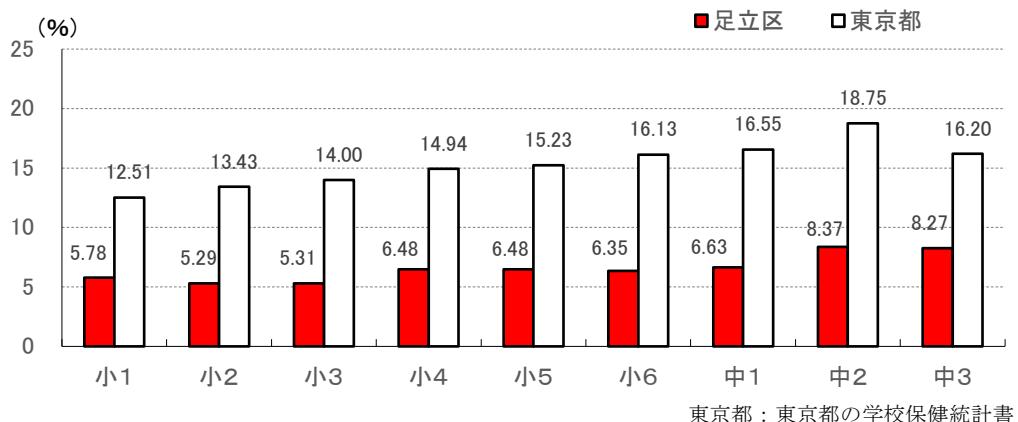


表29 アレルギー性鼻疾患率の年次推移

単位 受診数・被患数（人）/被患率（%）

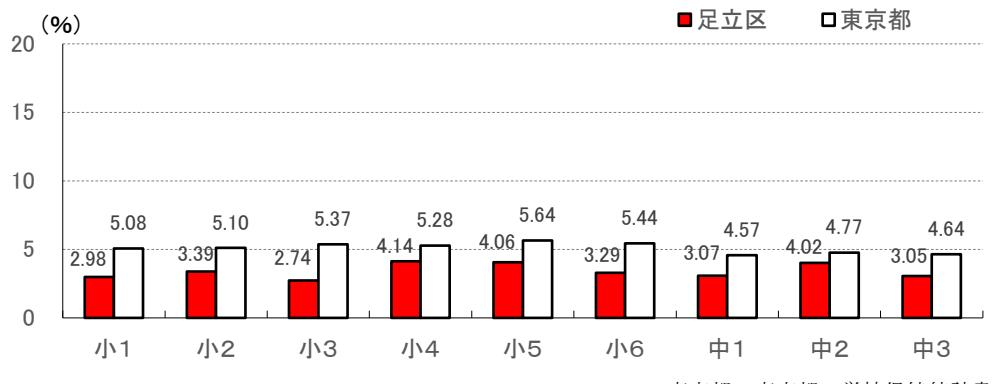
	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度		R6年度	
	受診数	被患数 被患率								
小学生	30,347	2,638	30,402	2,825	29,745	2,858	29,217	3,042	28,486	2,196
		8.69		9.29		9.61		10.41		7.71
中学生	12,394	930	12,913	1,042	12,804	1,415	12,490	1,344	12,435	1,245
		7.50		8.07		11.05		10.76		10.01

被患率は前年度に比べ小学生は減少し、中学生は横ばいであった。

ウ アレルギー性皮膚疾患

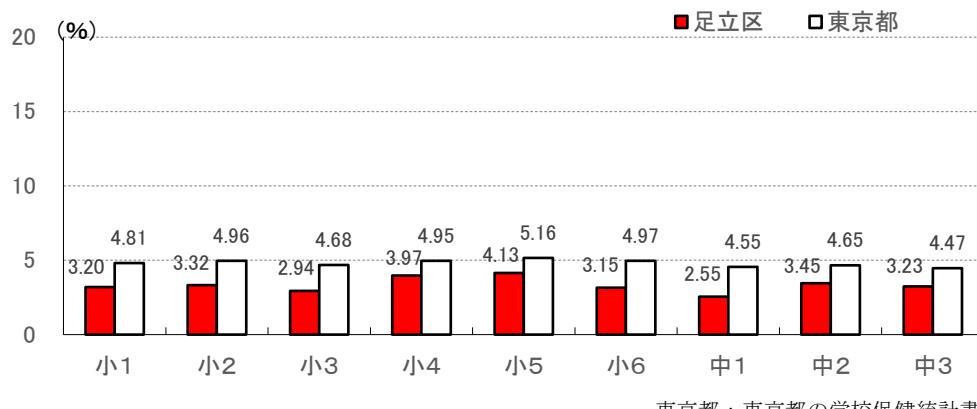
アレルギー性皮膚疾患の被患率は、女子よりも男子の割合が高い学年が多くかった。東京都との比較では、男女ともすべての学年で、東京都平均を下回った。

図29 アレルギー性皮膚疾患被患率【学年別割合および東京都比較（男子）】



東京都：東京都の学校保健統計書

図30 アレルギー性皮膚疾患被患率【学年別割合および東京都比較（女子）】



東京都：東京都の学校保健統計書

表30 アレルギー性皮膚疾患率の年次推移

単位 受診数・被患数（人）/被患率（%）

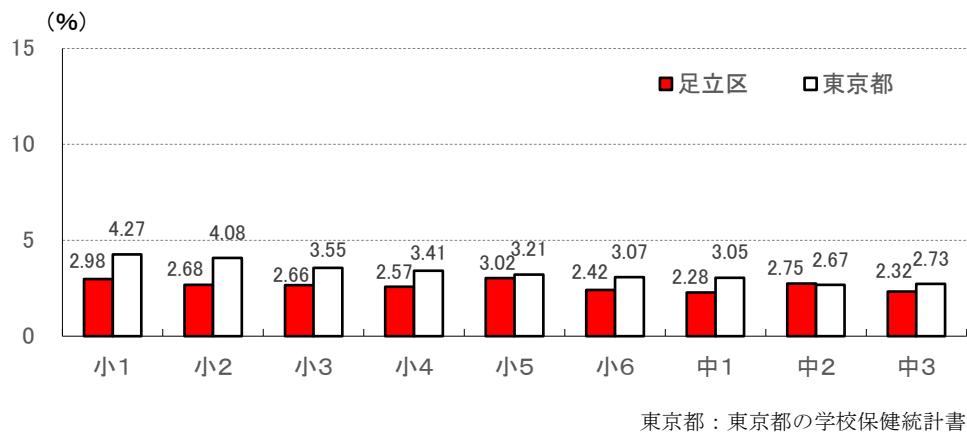
	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度		R6年度	
	受診数	被患数 被患率	受診数	被患数 被患率	受診数	被患数 被患率	受診数	被患数 被患率	受診数	被患数 被患率
小学生	30,777	1,107 3.60	30,495	1,057 3.47	29,935	1,010 3.37	29,385	1,227 4.18	28,653	988 3.45
中学生	12,760	317 2.48	13,147	317 2.41	13,012	476 3.66	12,824	389 3.03	12,642	408 3.23

被患率は前年度に比べ、小・中学生ともに横ばいであった。

工 気管支喘息

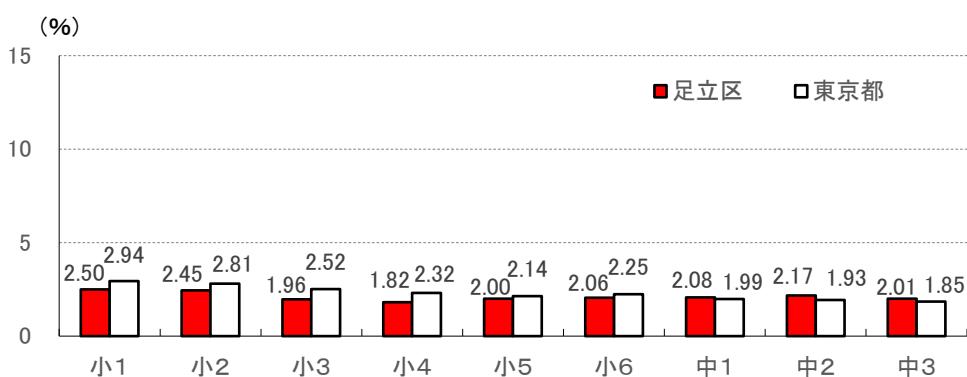
気管支喘息の被患率は、すべての学年で女子よりも男子の割合が高かつた。東京都との比較では、小学生は全学年で東京都平均を下回った。

図31 気管支喘息被患率【学年別割合および東京都比較（男子）】



東京都：東京都の学校保健統計書

図32 気管支喘息被患率【学年別割合および東京都比較（女子）】



東京都：東京都の学校保健統計書

表31 気管支喘息 年次推移

	単位 受診数・被患数(人) / 被患率 (%)							
	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度	
	受診数	被患数 被患率	受診数	被患数 被患率	受診数	被患数 被患率	受診数	被患数 被患率
小学生	30,777	1,084 3.52	30,495	976 3.20	29,935	777 2.60	29,385	869 2.96
中学生	12,760	379 2.97	13,147	415 3.16	13,012	438 3.37	12,824	332 2.59

被患率は、前年度に比べ小学生と中学生ともにやや減少し、過去5年間で最も低かった。

(6) 結核検診

小中学校児童・生徒の結核予防対策として実施している。
精密検査対象者は2名だったが、結核被患者は発見されなかった。

表32 結核検診結果

単位 上段(人) / 下段(%)

		在籍数	問診調査		学校医による診察		教育委員会とされた人検討が たる人数	精密検査対象者数
足立区	学年		問診結果	要検討者数	実施者数	診察結果		
小学生	29,163	29,125	201 0.69	28,713	0 0.00	167 0.57	2 0.00	1.20
中学生	13,394	13,284	41 0.31	12,630	0 0.00	41 0.31	0 0.00	0.00
合計	42,557	42,409	242 0.57	41,343	0 0.00	208 0.49	2 0.00	0.96

表33 結核検診精密検査結果

単位 上段(人) / 下段(%)

		精密検査受検者数	精密検査受検者数					精密検査結果				
			内 訃					要医療		経過観察	異常なし	精密 検 査 受 検 者 数 (%))
足立区	学年	精密検査受検者数 のみ	反ツ 応ベ ルクリ ン	X反ツ 線応ベ ルクリ ン	X 線 撮 影	Q F T 検 査	(診 察 そ の み 他 等)	要 医 療	(予 再 防 掲 内 服)			
小学生	2	0 0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
中学生	0	0 0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00
合計	2	0 0.00	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00

(7) 心臟疾患檢診

小中学校児童・生徒の心臓病疾患の早期発見と適切な健康管理を図るため、下表の検査を実施している。

表 3-4 心臟疾患檢診檢查內容

アンケート調査		第1次検査		第2次検査	
内容	対象	内容	対象	内容	対象
アンケートによる異常者抽出	児童・生徒全員 ※ただし、小・中学1年生は参考用として用いる。	2点心音図 4誘導心電図	小・中学1年生全員 およびアンケートなどによる抽出者	標準12誘導心電図 専門医による問診聴打 診その他の必要な検査 負荷心電図 心エコー検査 4点心音図 など	第1次検査有所見者 および経過観察者

表 3-5 檢查結果 [小学生]

項目区分	受診者数	有所見者数	有所見者内訳				要2次検査対象者数
			先天性心疾患	後天性心疾患	その他の心疾患	心電図異常	
小1	4,551	52 1.14	24 0.53	1 0.02	3 0.07	24 0.53	95 2.09
他学年抽出者	297	24 8.08	8 2.69	0 0.00	1 0.34	15 5.05	22 7.41
合計	4,848	76 1.57	32 0.66	1 0.02	4 0.08	39 0.80	117 2.41

表36 検査結果【中学生】

单位 上段(人) / 下段(%)

項目区分	受診者数	有所見者数	有 所 見 者 内 訳				要2次検査対象者数
			先天性心疾患	後天性心疾患	その他の心疾患	心電図異常	
中 1	4,301	44 1.02	19 0.44	0 0.00	3 0.07	22 0.51	92 2.14
他学年抽出者	163	9 5.52	2 1.23	0 0.00	0 0.00	7 4.29	13 7.98
合 計	4,464	53 1.19	21 0.47	0 0.00	3 0.07	29 0.65	105 2.35

有所見者では、小学生・中学生とともに、先天性心疾患および心電図異常が多く見られた。

表 3-7 心疾患別診断結果 [小学生]

单位(人)

注) 診断名について

V S D - 心室中隔欠損 P S - 肺動脈狹窄

A V S D - 心内膜床欠損

WPW-WPW症候群

ASD—心房中隔欠損

TGA—大血管轉位

PDA-動脈管開存

MR—僧帽弁閉鎖不全症

表38 心疾患別診断結果 【中学生】

単位(人)

項目 区分	先天性心疾患										心その他の疾患の 患の 他	心電図異常								合計						
	V S D	A S D	P A S	P F	T O	A S D	A G A	T R	M R	その 他		右脚ブロック 完全	右脚ブロック 不完全	心室性 上室性	房室ブロック 1度	房室ブロック 2度	肥大 完全	左室 右室	WPW その他	WPW その他	WPW その他	WPW その他				
中1	4	5	0	1	2	0	0	0	1	6	19	0	3	0	0	11	2	0	0	0	2	7	22	44		
他学年抽出者	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	3	1	7	9	
合計	5	5	0	1	2	0	0	0	1	7	21	0	3	0	0	12	3	1	0	0	0	0	5	8	29	53

注) 診断名について

V S D - 心室中隔欠損 P S - 肺動脈狭窄 A V S D - 心内膜床欠損 W P W - W P W 症候群
 A S D - 心房中隔欠損 T O F - ファロー四徴 T G A - 大血管転位
 P D A - 動脈管開存 A S - 大動脈弁狭窄 MR - 僧帽弁閉鎖不全症

小学生は、先天性心疾患ではV S D(心室中隔欠損)が多く、中学生はV S D(心室中隔欠損)とA S D(心房中隔欠損)が多かった。心電図異常では小学生・中学生ともに心室性期外収縮が最も多かった。

(8) 尿検査(腎臓検診・糖尿病検診)

小中学校児童・生徒の腎臓病、糖尿病の早期発見と適切な健康管理を図るために、下表の検査を実施している。

表39 腎臓検診 検査内容

第1次検査		第2次検査		第3次検査	
試験紙法による尿検査 (蛋白・糖・潜血・PH)		試験紙法による尿検査 (蛋白・糖・潜血・PH) 必要により沈渣顕微鏡検査		尿検査(四法方式) 小児科医による一般的診断 血圧測定 血液学的検査 血液生化学的検査 免疫学的検査	

表40 腎臓検診 検査結果

単位 上段(人) / 下段(%)

項目 種別	第1次検査		第2次検査		検診 第3 者 次 数	有所 見 者 数	有所 見 者 内 訳								再検査			
							要受診			単独所見								
	受診者数	陽性者 数(± 以上)	受診者数	陽性者 数(± 以上)			腎炎	腎炎疑 い	尿路 感染症	血尿	微少血尿	蛋白尿	その他					
小学生	28,980	421 1.45	378	83 0.29	50	35 0.12	0 0.00	4 0.01	2 0.01	12 0.04	1 0.00	14 0.05	1 0.00	1 0.00				
中学生	12,965	700 5.40	615	92 0.71	59	31 0.24	0 0.00	1 0.01	2 0.02	6 0.05	4 0.03	15 0.12	3 0.12	0 0.02	0 0.00			

※ 要受診者の症状(血尿や尿蛋白の重複)は、単独所見の件数に含まれていない。

※ 起立性尿蛋白は管理不要とし有所見者数に含まれていない。

※ 有所見者内訳の再検査とは、判定不能などである。

第3次検査の結果、小学生に4人、中学生に1人、腎炎の疑いのある者が発見された。

表41 糖尿病検診 検査内容

第1次検査	第2次検査	第3次検査
試験紙法による尿検査 (蛋白・糖・潜血・PH)	試験紙法による尿検査 (蛋白・糖・潜血・PH) 必要により沈渣顕微鏡検査	尿検査 (尿糖、インスリン、アセトン) 専門医による診察 ブドウ糖負荷試験(血糖、尿糖) 血液検査

表42 糖尿病検診 検査結果

単位 上段(人) / 下段(%)

項目 種別	第1次検査		第2次検査		検 診 第 3 者 次 数	有 所 見 者 数	有所見者内訳				
	受診者数	陽性者 数(± 以上)	受診者数	陽性者 数(± 以上)			糖尿病	糖尿病 疑	境界型 糖尿病	高インス リン血症	その他
小学生	28,980	30 0.10	20	5 0.02	1	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
中学生	12,965	27 0.21	20	6 0.05	5	4 0.03	3 0.02	0 0.00	1 0.01	0 0.00	0 0.00

第3次検査の結果、中学生に3人、糖尿病の者が発見された。うち、1人について既往歴があり、2人については病院受診へとつなげた。

表43 糖尿病発見数の年次推移

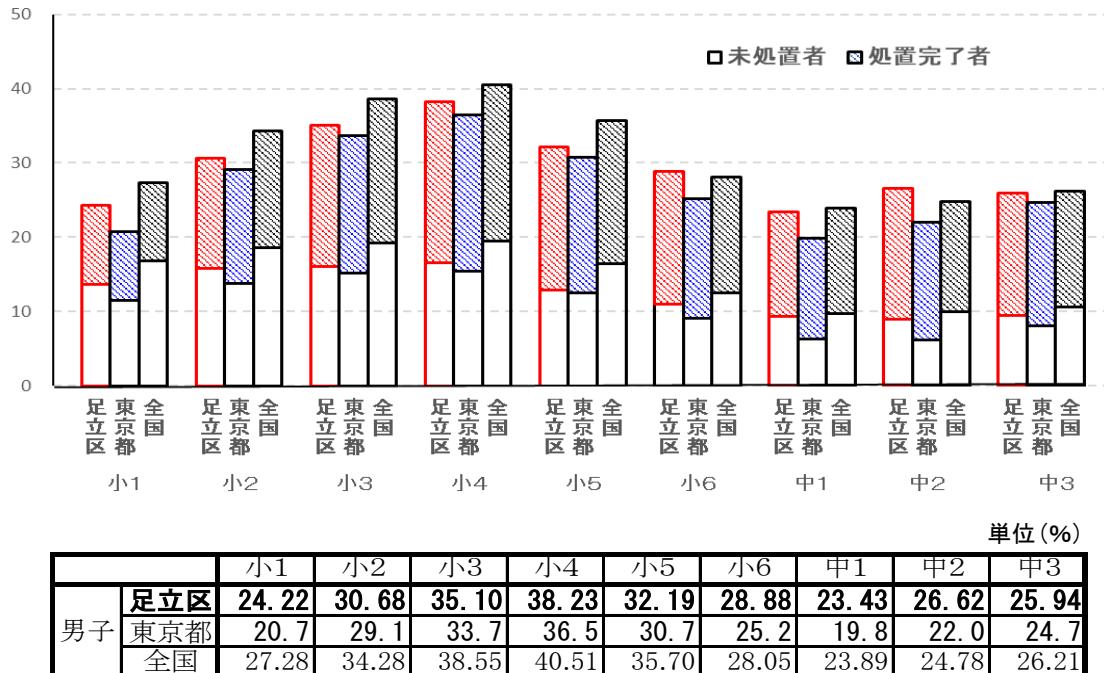
単位 (人)

種別	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
小学生	1	2	1	2	0
中学生	2	1	1	1	3

(9) 歯科健診

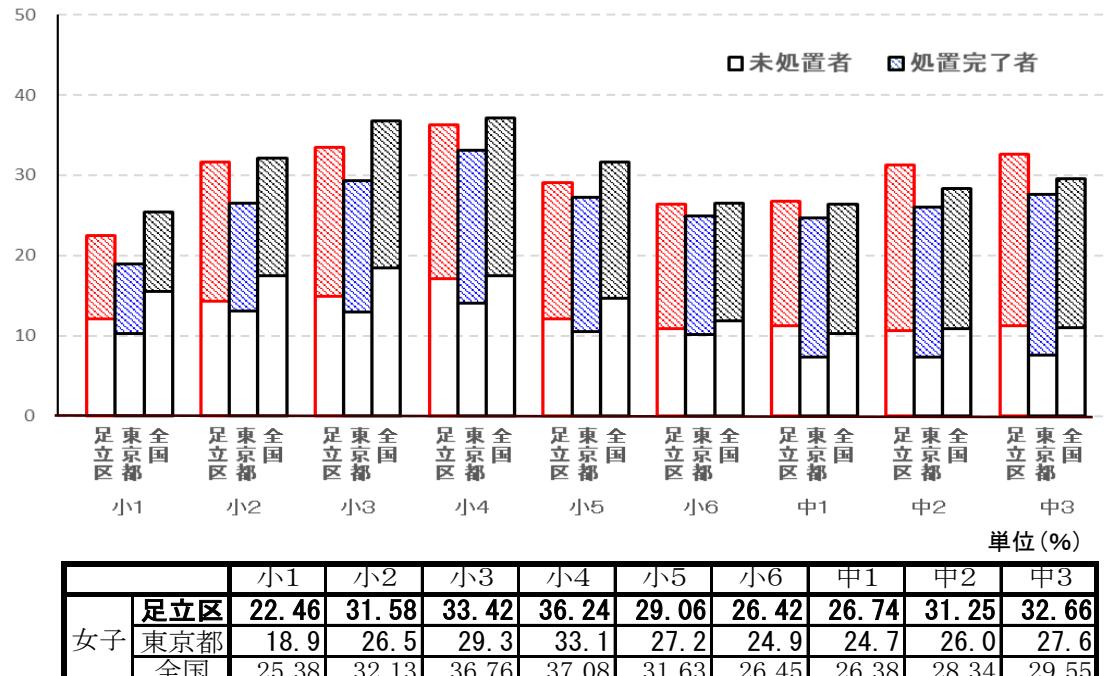
ア 乳歯又は永久歯のむし歯(治療済みのむし歯も含む)のある児童生徒の割合

図33・表44 学年別割合および東京都・全国比較 【男子】



全国・東京都：文部科学省学校保健統計調査（無作為抽出）

図34・表45 学年別割合および東京都・全国比較 【女子】



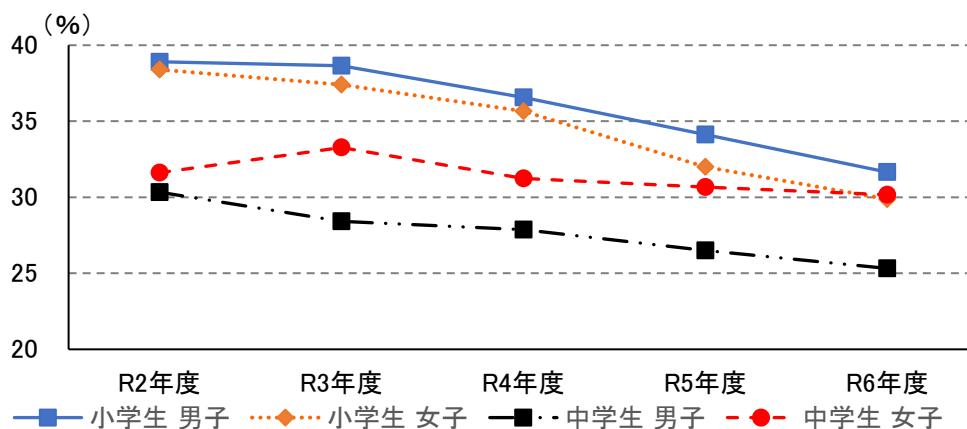
全国・東京都：文部科学省学校保健統計調査（無作為抽出）

むし歯の被患率は、永久歯に生え変わる小学校高学年で一旦減少し、以降微増傾向となった。全国、東京都との比較では、男女ともに全国平均より下回ってい

表46・図35 むし歯のある児童生徒の割合の年次推移

		単位(%)				
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
小學生	男子	38.91	38.66	36.57	34.13	31.65
	女子	38.39	37.40	35.67	31.99	29.88
	総数	38.66	38.04	36.13	33.08	30.78
中学生	男子	30.33	28.43	27.87	26.49	25.32
	女子	31.61	33.27	31.24	30.66	30.16
	総数	30.95	30.75	29.48	28.51	27.69

『う歯被患率=（処置完了者+未処置歯のある者）÷歯科受診者数×100』とした。



小学生・中学生男女ともに年々減少傾向にあり、過去5年間で最も低かった。

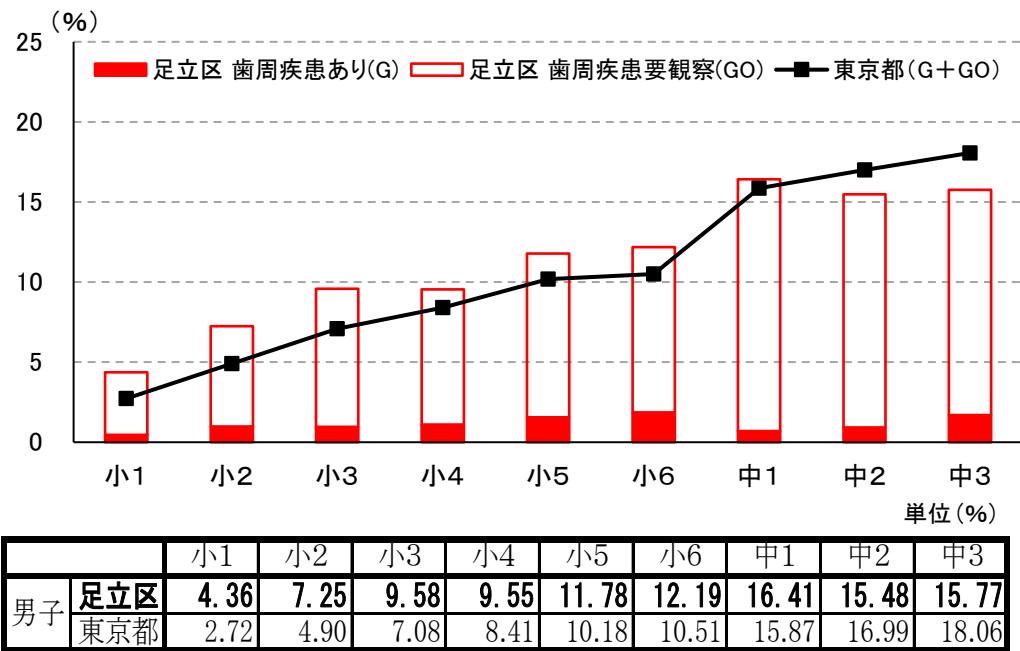
表47 むし歯のある児童生徒の割合の学年別年次推移

		男 子					女 子					単位(%)
		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
小學生	小1	32.65	29.86	28.57	25.99	24.22	33.63	28.53	26.57	25.99	22.46	
	小2	44.25	35.79	35.27	32.43	30.68	42.21	37.35	34.47	30.62	31.58	
	小3	46.64	47.27	42.77	39.50	35.10	45.83	44.38	43.03	38.11	33.42	
	小4	45.56	48.11	45.69	40.38	38.23	44.28	43.07	42.82	39.02	36.24	
	小5	35.37	40.30	36.64	37.09	32.19	33.69	39.72	35.21	31.64	29.06	
	小6	29.64	30.62	30.21	28.73	28.88	30.30	31.10	31.83	26.65	26.42	
中学生	中1	28.42	26.76	26.19	25.61	23.43	28.74	31.03	28.77	30.94	26.74	
	中2	30.87	26.50	28.60	24.40	26.62	32.74	32.18	32.21	28.84	31.25	
	中3	31.91	32.15	28.82	29.37	25.94	33.44	36.64	32.79	32.18	32.66	

令和2年度と比較すると、むし歯のある児童・生徒の割合は、男子は小2、女子は小3が最も減少した。

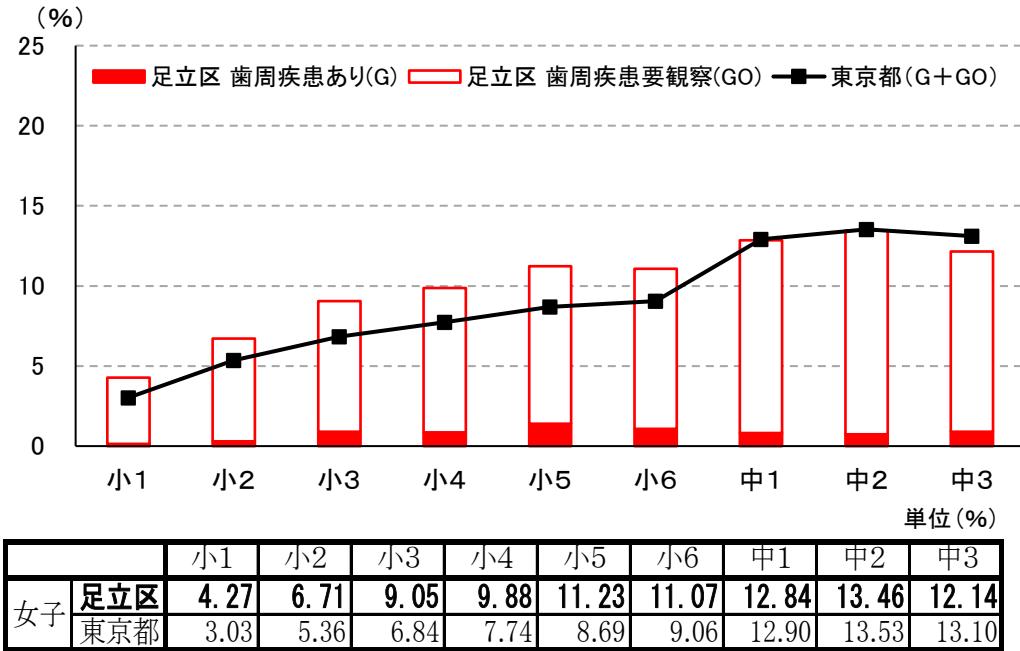
イ 歯肉に所見*のある児童生徒の割合(※G:歯周疾患あり+GO:歯周疾患要観察)

図36・表48 学年別割合および東京都比較 【男子】



東京都：東京都の学校保健統計書

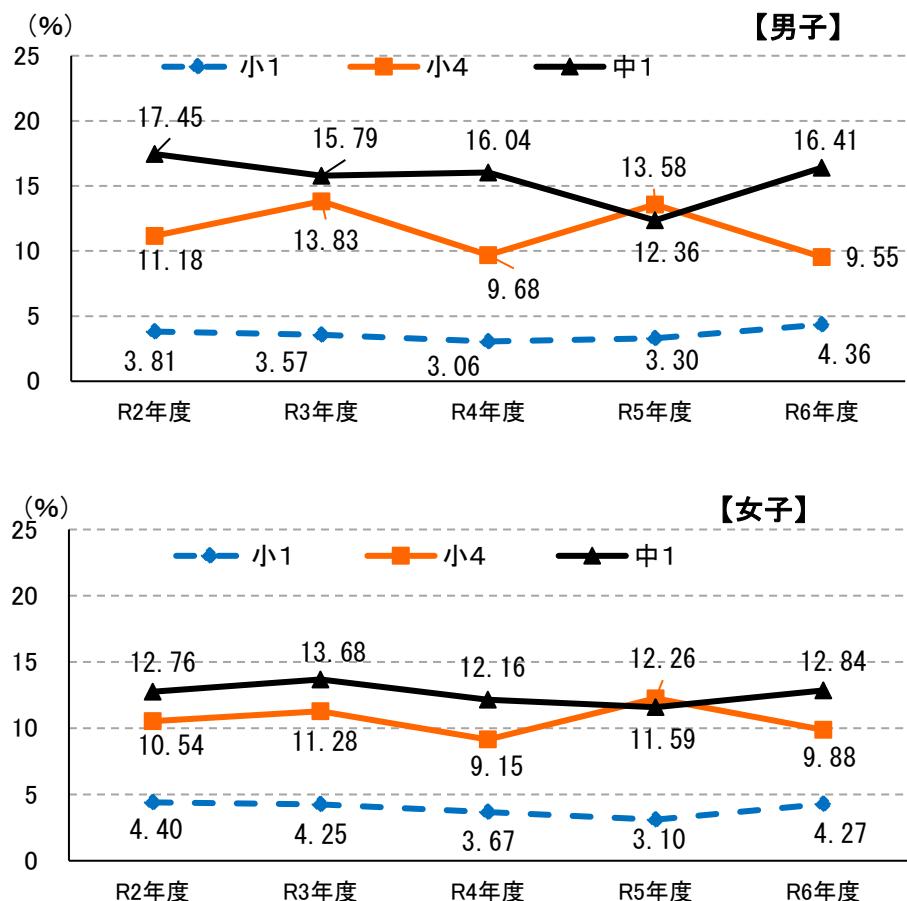
図37・表49 学年別割合および東京都比較 【女子】



東京都：東京都の学校保健統計書

歯肉に所見のある児童・生徒の割合は、男女ともに小学5年生以降で10%を超えた。東京都と比較すると、小学生は男女ともに全ての学年で東京都平均を上回った。

図38 歯肉に所見のある児童生徒（G+GO）の年次推移



小学4年生の所見のある割合は男女ともに減少した。

<参考>足立区糖尿病対策アクションプラン「歯科口腔保健対策編」より

■永久歯のう蝕（う歯）予防

単位(%)

足立区糖尿病対策アクションプランの目標 (2024年度の目標)	R3年	R4年	R5年	R6年
小1でむし歯のない子の割合	75	70.80	72.41	74.01
中1で永久歯にむし歯のない子の割合	78	74.91	76.31	76.33

■歯肉炎の予防

単位(%)

足立区糖尿病対策アクションプランの目標 (2024年度の目標)	R3年	R4年	R5年	R6年
小4で歯肉に所見のない児童の割合	93	87.44	90.58	87.06
中1で歯肉に所見のない生徒の割合	89	85.22	85.83	88.02

ウ DMFT指數（1人平均永久歯の虫歯保有数）

永久歯の一人平均う歯経験歯数（DMFT指數）の算出方法

DMFT指數とは永久歯のむし歯経験歯が、一人あたり何本あるかを示す数値

D……decayed：永久歯のむし歯で未処置の歯

M……missing because of decayed：むし歯が原因で失った永久歯

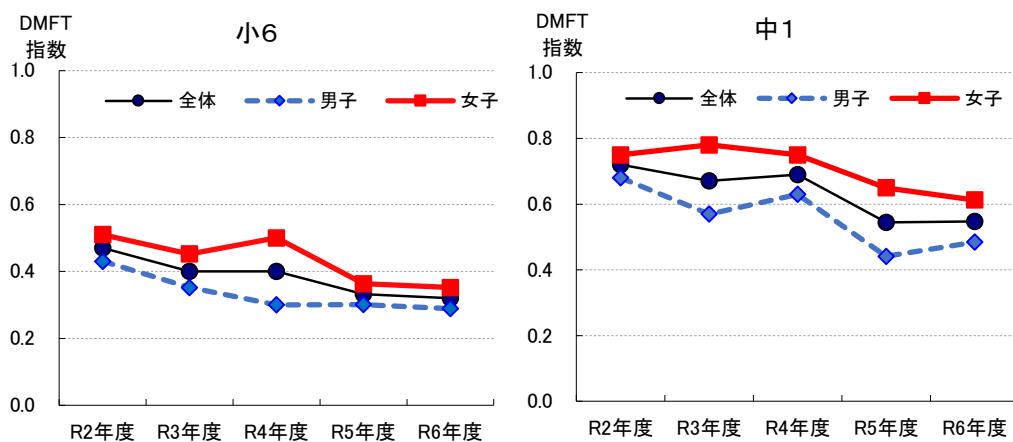
F……filled：永久歯のむし歯で処置を完了した歯

T……teeth（歯）の頭文字

$$\text{DMFT指數} = \frac{\text{受診者のDMFT歯の合計}}{\text{受診者数}}$$

表50・図39 DMFT指數 年次推移

		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
小 6	DMFT指數	0.47	0.40	0.40	0.33	0.32
	喪失歯数(M)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	う 处置歯数(F)	0.28	0.26	0.28	0.21	0.21
	歯 未処置歯数(D)	0.18	0.13	0.12	0.12	0.10
	DMFT指數	0.43	0.35	0.30	0.30	0.29
	喪失歯数(M)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	う 处置歯数(F)	0.25	0.24	0.22	0.18	0.19
	歯 未処置歯数(D)	0.17	0.11	0.09	0.12	0.09
	DMFT指數	0.51	0.45	0.50	0.36	0.35
	喪失歯数(M)	0.00	0.01	0.00	0.00	0.00
	う 处置歯数(F)	0.32	0.29	0.34	0.24	0.24
	歯 未処置歯数(D)	0.19	0.15	0.16	0.12	0.11
中 1	DMFT指數	0.72	0.67	0.69	0.54	0.55
	喪失歯数(M)	0.02	0.02	0.01	0.01	0.02
	う 处置歯数(F)	0.52	0.48	0.53	0.39	0.33
	歯 未処置歯数(D)	0.18	0.17	0.16	0.15	0.20
	DMFT指數	0.68	0.57	0.63	0.44	0.48
	喪失歯数(M)	0.02	0.01	0.01	0.01	0.02
	う 处置歯数(F)	0.50	0.42	0.48	0.31	0.30
	歯 未処置歯数(D)	0.17	0.14	0.14	0.12	0.17
	DMFT指數	0.75	0.78	0.75	0.65	0.61
	喪失歯数(M)	0.01	0.03	0.01	0.01	0.02
	う 处置歯数(F)	0.54	0.55	0.57	0.46	0.36
	歯 未処置歯数(D)	0.20	0.20	0.17	0.18	0.23



DMFT指數は、小学6年生、中学1年生ともに前年度と横ばいであった。

4 脊柱側わん症検診

小中学校児童・生徒の脊柱異常（脊柱がねじれを伴って左右に曲がった状態等）の早期発見・適切な健康管理を図るため、下表の検診を実施している。

表 5.1 検診内容

第1次検診			第2次検診		
内 容	対象者		内 容	対象者	
モアレ撮影 (立位背面)	1) 小学5年・中学2年の全員 2) 前年度に次年度モアレ撮影 となつた者 3) 他学年抽出者		直接エックス線撮影 専門医の診察	1) 今年度要精密検査になった者 2) 前年度に次年度エックス線撮影 となつた者	

※ モアレ撮影とは、背中に光を当て、背骨の曲がりやねじれの有無を調べる検査。

※ 他学年抽出者とは、定期健康診断で校医が必要と認めた者。

表 5.2 第1次検診結果

単位 上段(人) / 下段(%)

区分	項目	受診者数			有所見者			有所見者の内訳								
								病院管理			次年度モアレ再検査			要2次検診		
		男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数
小学生	小5	2,509	2,321	4,830	55	183	238	0	1	1	54	153	207	1	29	30
					2.19	7.88	4.93	0.00	0.04	0.02	2.15	6.59	4.29	0.04	1.25	0.62
		他 学 年	前年より	68	180	248	19	108	127	0	0	0	13	75	88	6
	1次受診	64	47	111	4	8	12	0	0	0	3	6	9	1	2	3
中学生	中2	2,059	1,969	4,028	178	316	494	1	7	8	150	211	361	27	98	125
					8.64	16.05	12.26	0.05	0.36	0.20	7.29	10.72	8.96	1.31	4.98	3.10
		他 学 年	前年より	182	299	481	82	165	247	0	0	0	13	24	37	69
	1次受診	73	43	116	10	7	17	0	2	2	0	1	1	10	6	16

表 5.3 第2次検診結果

単位 (人)

区分	項目	対象者数			受診者数			第2次検診結果											
								要治療			要経過観察			次年度直接XP再検査			正常範囲		
		男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	男子	女子	総数	総数		
小学生	小5	1	29	30	1	26	27	0	2	2	1	10	11	0	12	12	2		
		他 学 年	前年より	7	47	54	6	33	39	0	5	5	2	11	13	3	15	18	3
		1次受診	1	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
中学生	中2	30	111	141	24	73	97	3	8	11	7	28	35	8	34	42	9		
		他 学 年	前年より	91	177	268	74	150	224	0	4	4	46	84	130	6	10	16	74
		1次受診	10	6	16	4	3	7	0	0	0	3	1	4	0	0	0		

※ 第2次検診の対象者は、前年の検査結果により第2次検診のみ再検査の者が含まれる。

男子より女子の方が、要治療、要経過観察者が多かった。

5 就学時健康診断

小学校への就学予定児を対象に、その心身の状態を把握し、健康上、適正な就学指導を行うため、毎年各小学校で健康診断を実施している。

表 5.4 就学時健康診断結果

単位（人）

			男子	女子	計	
① 受診者数			2,269	2,210	4,479	—
検査項目	② 栄養状態	栄養不良	0	0	0	0.00%
		肥満傾向	5	3	8	0.18%
	③ 脊柱異常		1	1	2	0.04%
	④ 胸郭異常		2	1	3	0.07%
	⑤ 裸眼視力0.3未満の者		58	47	105	2.34%
	⑥ 難聴（両耳）		32	34	66	1.47%
	⑦ 眼の疾病及び異常		146	138	284	6.34%
	⑧ 耳鼻咽頭疾患		456	368	824	18.40%
	⑨ 皮膚疾患		27	27	54	1.21%
	⑩ 心臓の異常		8	9	17	0.38%
	⑪ 運動機能障害		1	0	1	0.02%
	⑫ 身体虚弱		0	0	0	0.00%
	⑬ その他の疾病及び異常		8	8	16	0.36%
疾⑭ 病歯 及・ び口 異腔 常の う歯	乳歯	処置完了者	242	242	484	10.81%
		未処置歯のある者	250	223	473	10.56%
	永久歯	処置完了者	16	23	39	0.87%
		未処置歯のある者	5	9	14	0.31%
	不正咬合		89	114	203	4.53%
	その他口腔の疾病及び異常		54	49	103	2.30%

図 4.0 裸眼視力0.3未満の年次推移

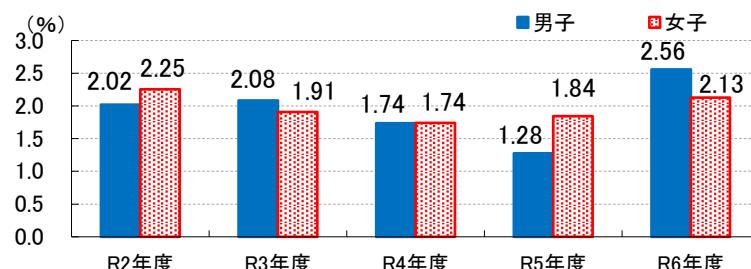
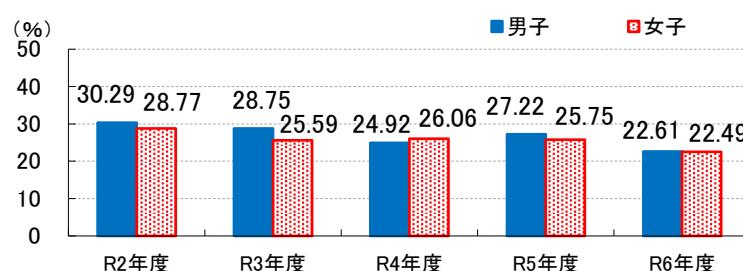


図 4.1 う歯有病率の年次推移



6 児童・生徒の感染症り患状況

(1) 調査の概要

小中学校の児童・生徒を対象に、学校感染症による出席停止者数を調査している。流行の状態を把握し、感染症予防に役立てている。

(2) 月別患者数

表55 出席停止月別患者数 【小学生】 単位(人)

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
第2種	インフルエンザ	63	23	8	22	47	63	229	1,695	756	186	48 3,140
	百日咳	0	0	0	0	0	2	0	0	3	0	2 7
	麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0
	流行性耳下腺炎	4	15	9	8	8	8	6	7	1	4	2 72
	風疹	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1 1
	水痘	6	29	47	35	3	3	36	40	68	36	84 387
	咽頭結膜熱	5	17	19	4	2	0	0	2	1	1	3 54
	新型コロナウイルス感染症	55	39	93	127	147	41	30	54	109	195	79 969
	結核	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0
	皰膜炎菌性皰膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0
第3種	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0
	流行性角結膜炎	10	26	12	4	3	1	6	12	6	5	1 86
	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1 1
	腸チフス・パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0
	溶連菌感染症	196	300	220	125	93	92	103	122	82	75	44 1,452
	ウイルス性肝炎	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1 1
	手足口病	3	4	60	124	209	446	210	59	4	1	0 1,120
	伝染性紅斑	1	1	2	2	5	10	20	34	34	30	17 156
	のマイコプラズマ感染症	1	3	7	6	114	296	327	159	55	22	5 995
	感染性胃腸炎	41	70	83	21	33	33	58	106	112	251	178 986
その他	ヘルパンギーナ	0	5	23	41	17	14	3	3	0	0	1 107
	帯状疱疹	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0 4
	その他	5	1	1	0	0	4	2	4	3	3	4 27
	月 計	391	535	585	519	681	1,013	1,031	2,298	1,235	809	468 9,565

※8月は夏季休業中のため除く

表56 出席停止月別患者数 【中学生】 単位(人)

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年度計
第2種	インフルエンザ	15	9	0	3	36	67	175	595	347	33	60 1,340
	百日咳	0	0	0	0	0	1	0	2	0	0	3 3
	麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0
	流行性耳下腺炎	0	3	0	2	0	0	0	0	1	1	0 7
	風疹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0
	水痘	2	1	5	4	4	3	10	11	2	0	1 43
	咽頭結膜熱	0	1	3	0	1	0	0	0	0	0	5 5
	新型コロナウイルス感染症	38	68	154	154	196	58	17	45	85	95	35 945
	結核	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0
	皰膜炎菌性皰膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0
第3種	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0
	流行性角結膜炎	2	5	3	0	1	0	1	2	1	1	17 17
	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0
	溶連菌感染症	10	32	29	6	10	8	18	11	4	8	2 138
	ウイルス性肝炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 0
	手足口病	0	1	4	18	13	21	13	4	0	0	74 74
	伝染性紅斑	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1 1
	のマイコプラズマ感染症	0	2	8	5	39	61	97	54	22	14	3 305
	感染性胃腸炎	16	18	22	7	16	13	16	20	26	67	44 265
	ヘルパンギーナ	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0 3
その他	帯状疱疹	1	0	0	0	1	0	0	3	0	0	5 5
	その他	0	0	3	0	2	1	2	0	1	2	0 11
月 計		84	140	231	200	319	232	350	746	491	223	146 3,162

※8月は夏季休業中のため除く

(3) 過去3年間の主な感染症り患状況

図42 新型コロナウイルス感染症(小学生)

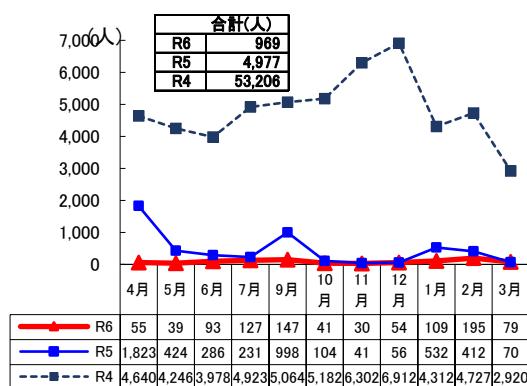
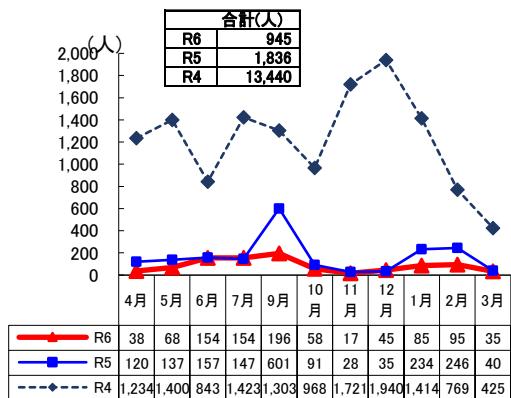


図43 新型コロナウイルス感染症(中学生)



※ 令和5年5月8日以降は新型コロナウイルス感染症り患者数の集計であるが、令和4年度から令和5年5月8日までについては、新型コロナウイルス感染症に関連した出席停止者数を集計している。

図44 インフルエンザ(小学生)

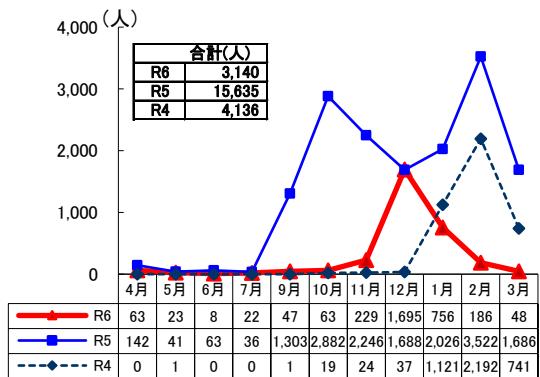
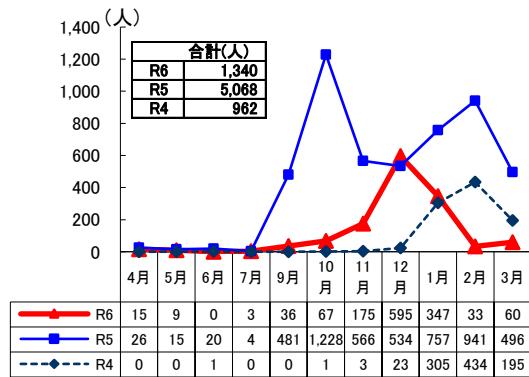


図45 インフルエンザ(中学生)



令和6年度のインフルエンザの罹患数は、11月から増え始め、12月をピークに減少していった。学級閉鎖数は61学級であった。

図46 溶連菌感染症(小学生)

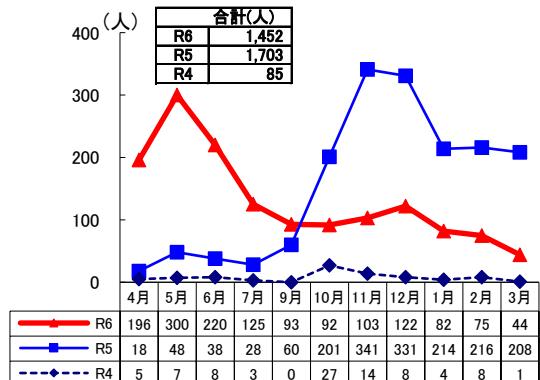
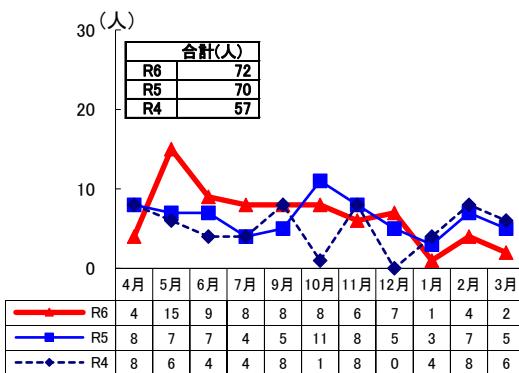


図47 流行性耳下腺炎(小学生)



令和6年度の溶連菌感染症罹患数は、4～6月をピークに減少していった。

7 学校管理下における災害統計

災害統計は、小・中学校の管理下における児童生徒の負傷および疾病（熱中症・食中毒等）の災害報告のまとめである。

(1) 災害発生状況

表57 災害発生件数および発生率 単位 在籍人数(人)/件数(件)/発生率(%)

	小学生			中学生			合 計		
	在籍数	災害件数	発生率	在籍数	災害件数	発生率	在籍数	災害件数	発生率
R2年度	31,213	586	1.88	13,429	457	3.40	44,642	1,043	2.34
R3年度	30,773	644	2.09	13,789	500	3.63	44,562	1,144	2.57
R4年度	30,276	633	2.09	13,719	481	3.51	43,995	1,114	2.53
R5年度	29,727	717	2.41	13,555	574	4.23	43,282	1,291	2.98
R6年度	29,127	587	2.02	13,383	518	3.87	42,510	1,105	2.60

※ 災害件数には、疾病件数（令和6年度は小学校35件、中学校52件）を含む。

※ 在籍数は各年度5月1日現在の人数。

過去5年間の災害発生件数および発生率は、小学生・中学生とともに概ね横ばいであった。

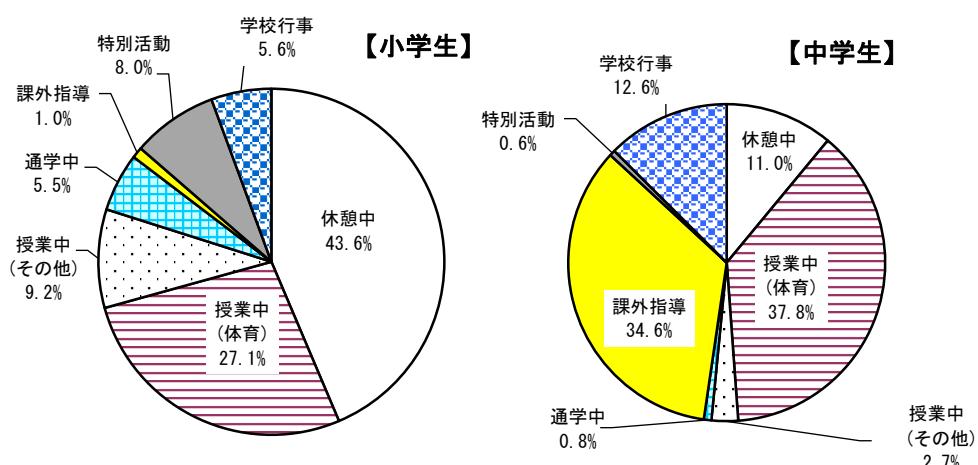
表58・図48 災害発生時の活動状況

単位 上段(件) / 下段(%)

時間帯	休憩中	授業中		通学中	課外指導	特別活動	学校行事	合 計
		体育	その他					
小學生	件数	256	159	54	32	6	47	33
	割合	43.61	27.09	9.20	5.45	1.02	8.01	5.62
中學生	件数	57	196	14	4	179	3	65
	割合	11.00	37.84	2.70	0.77	34.56	0.58	12.55
合 計	件数	313	355	68	36	185	50	98
	割合	28.33	32.13	6.15	3.26	16.74	4.52	8.87
								1,105

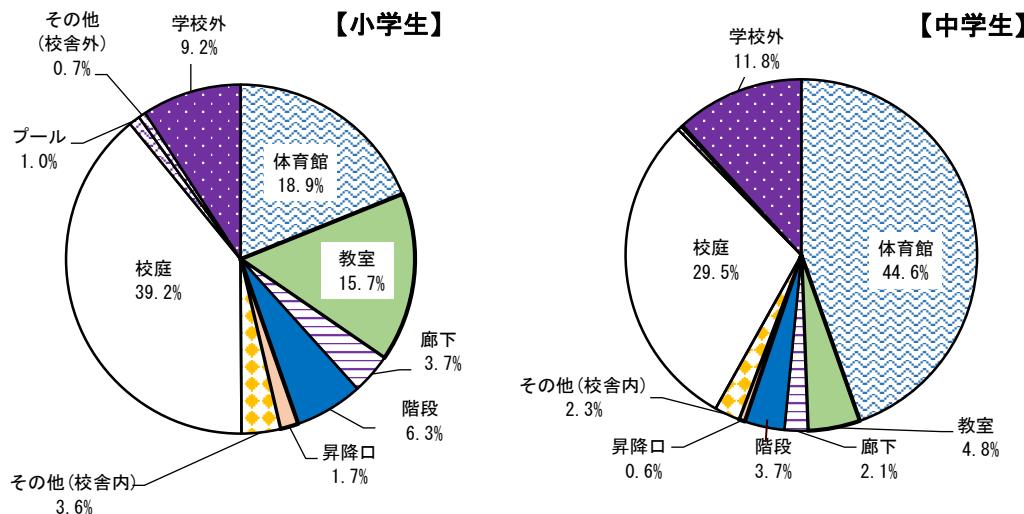
※ 休憩中 … 始業前、放課後等を含む。

※ 課外指導… 部活動、林間学校、水泳指導など。



小学生は休憩中の災害、中学生は体育の授業中の災害が多かった。

図49 災害発生時の場所

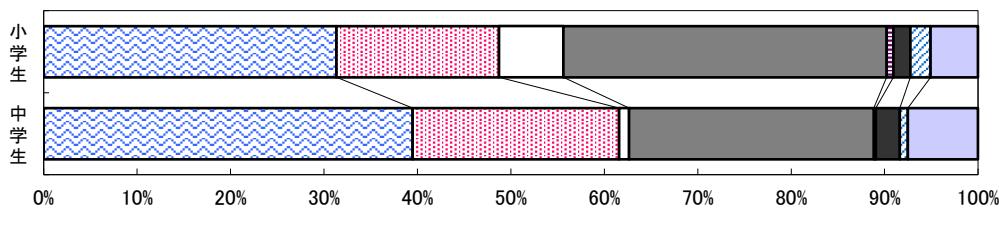


小学生は校庭、中学生は体育館・校庭での災害が多かった。

表59・図50 負傷の種類

単位 上段(件) / 下段(%)

種類		骨 折	捻 挫	挫 創	挫傷・打撲	切 創	脱臼	歯牙破折	その他	合計
小 学 生	件 数	173	96	38	191	4	10	12	28	552
	割 合	31.34	17.39	6.88	34.60	0.72	1.81	2.17	5.07	
中 学 生	件 数	184	103	5	122	1	12	4	35	466
	割 合	39.48	22.10	1.07	26.18	0.21	2.58	0.86	7.51	
合 計	件 数	357	199	43	313	5	22	16	63	1,018
	割 合	35.07	19.55	4.22	30.75	0.49	2.16	1.57	6.19	



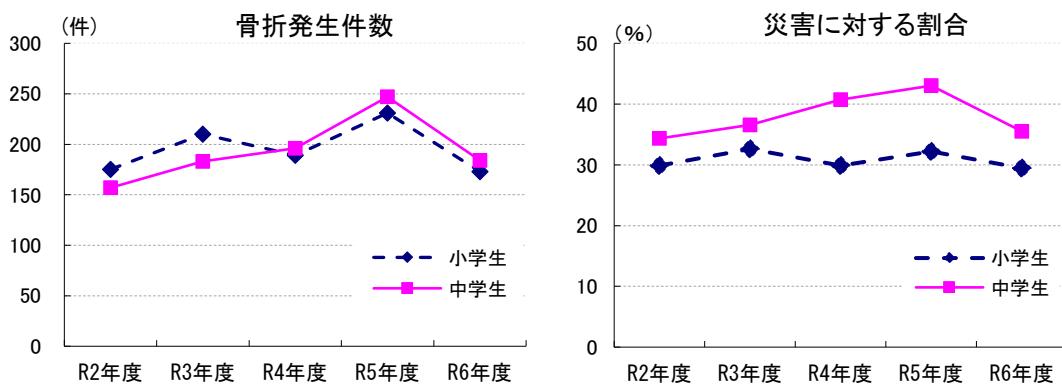
小学生は挫傷・打撲、中学生は骨折の負傷が多かった

小学生は挫傷・打撲、中学生は骨折の負傷が多かった

表60・図51 骨折発生件数および発生率の推移

単位 件数(件) / 割合(%)

	小学生			中学生			合 計		
	件 数	在籍数に 対する骨 折の割合	災害に 対する 割合	件 数	在籍数に 対する骨 折の割合	災害に 対する 割合	件 数	在籍数に 対する骨 折の割合	災害に 対する 割合
R2年度	175	0.56	29.86	157	1.17	34.35	332	0.74	31.83
R3年度	210	0.68	32.61	183	1.33	36.60	393	0.88	34.35
R4年度	189	0.62	29.86	196	1.43	40.75	385	0.88	34.56
R5年度	231	0.78	32.22	247	1.82	43.03	478	1.10	37.03
R6年度	173	0.59	29.47	184	1.37	35.52	357	0.84	32.31

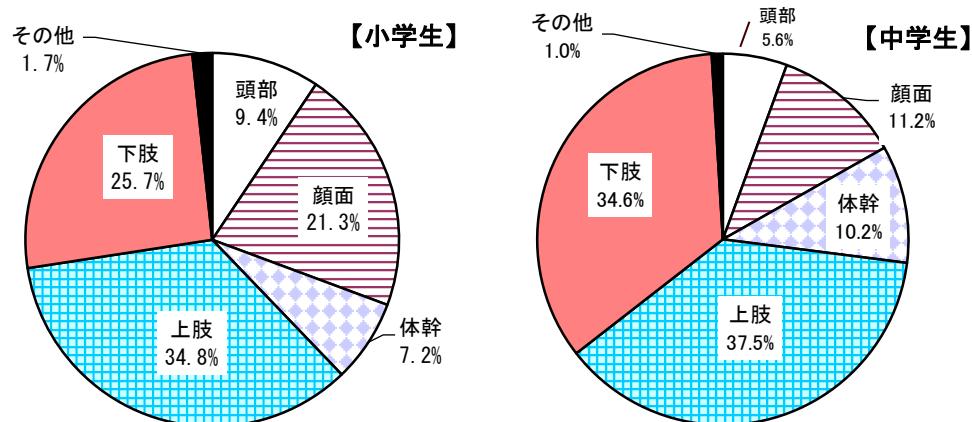


小学生、中学生ともに骨折発生件数は前年度に比べ減少し、災害に対する割合もやや減少した。

表61・図52 災害の部位別発生状況

単位 上段(件) / 下段(%)

部位別		頭 部	顔 面	体 幹	上 肢	下 肢	その 他	合 計
小 学 生	件 数	55	125	42	204	151	10	587
	割 合	9.37	21.29	7.16	34.75	25.72	1.70	
中 学 生	件 数	29	58	53	194	179	5	518
	割 合	5.60	11.20	10.23	37.45	34.56	0.97	
合 計	件 数	84	183	95	398	330	15	1,105
	割 合	7.60	16.56	8.60	36.02	29.86	1.36	



小学生、中学生ともに上肢を負傷する災害が最も多かった。

(2) 災害共済掛金および給付状況

表62 災害共済掛金 単位(円)

	掛 金 額
小学校	25,399,370
中学校	11,415,245
合 計	36,814,615

表63 給付件数・金額

単位 件数(件) / 金額(円)

	小学校		中学校		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
死亡見舞金	0	0	0	0	0	0
障害見舞金	0	0	0	0	0	0
医療費給付	966	7,579,234	1,069	11,993,757	2,035	19,572,991
供花料	0	0	0	0	0	0
合 計	966	7,579,234	1,069	11,993,757	2,035	19,572,991

表64 医療費別給付状況

種類 月	小学校		中学校		合計	
	件数	給付金額	件数	給付金額	件数	金額
4	103	778,729	92	668,832	195	1,447,561
5	149	1,070,705	113	1,409,972	262	2,480,677
6	56	570,215	65	933,382	121	1,503,597
7	75	523,307	61	683,086	136	1,206,393
8	122	938,987	111	1,462,411	233	2,401,398
9	76	665,452	114	1,424,232	190	2,089,684
10	8	33,386	48	449,252	56	482,638
11	78	500,089	122	1,168,743	200	1,668,832
12	49	435,417	72	387,649	121	823,066
1	97	596,459	80	1,507,746	177	2,104,205
2	59	472,270	76	577,425	135	1,049,695
3	94	994,218	115	1,321,027	209	2,315,245
合 計	966	7,579,234	1,069	11,993,757	2,035	19,572,991

災害1件あたりの平均給付金額

¥17,713-

※災害1件あたりの平均給付金額=合計給付金額/災害発生件数(給付件数ではない)

「負傷の種類」や「災害発生時の活動状況」等の数字は“負傷”的件数で“疾病”的件数は入っていない。

災害発生件数は“負傷”件数+“疾病”件数である。

【資料1】貧血・小児生活習慣病予防健診 判定基準

1 『項目別判定』及び『コメント』

(1) 小児生活習慣病予防健診

① 肥満（肥満度）

肥満度は、年齢・性別・身長別の標準体重から算出する。

肥満度(%)	判定
50.0%以上	a かなりの肥満
30.0 ~ 49.9%	b 肥満
20.0 ~ 29.9%	c 肥満ぎみ
-19.9 ~ 19.9%	n 正常体格群
-20.0%以下	y やせすぎ傾向

③ 血清脂質

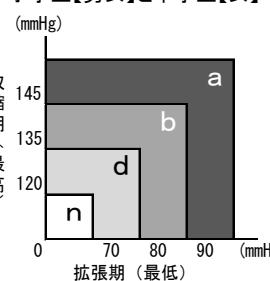
(ア) 総コレステロールとHDLコレステロール

総コレステロール(mg/dl)	HDLコレステロール(mg/dl)
a	a
b	a
c	b
d	c
n	d

$\geq 40 >$

② 血圧

小学生【男女】と中学生【女】

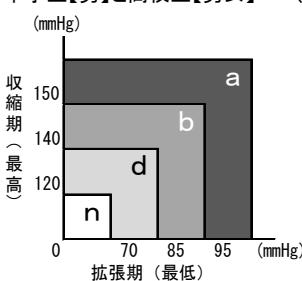


a : 高血圧

b : 軽度の高血圧

n : 正常範囲

中学生【男】と高校生【男女】



a : 高血圧

b : 軽度の高血圧

n : 正常範囲

(イ) LDLコレステロール

190 mg/dl 以上	a
160 ~ 189 mg/dl	b
140 ~ 159 mg/dl	c
110 ~ 139 mg/dl	d
109mg/dl 以下	n

a : 血清脂質の値にかなり異常

b : 血清脂質の値に異常

c : 血清脂質の値に異常傾向

d : 血清脂質の値にやや異常傾向

n : 正常範囲

血清脂質判定において、(ア)と(イ)の判定が異なるときはより重い方の判定を採択し、両者が同一判定区分であれば(aとa、nとnを除く)1ランク上の重い判定とする。

(2) 貧血検査

性別・年齢別の基準値 ※平成29年度に基準値・分類を変更。

		白血球数(/mm ³)			
男女	全員	3,000~12,900			
男子	6~12歳	371 ~ 600	11.6 ~ 16.0	75.0 ~ 99.9	
	13~14歳		12.1 ~ 17.0		
	15歳	381 ~ 629	12.6 ~ 18.0		
	16歳以上		13.1 ~ 18.0		
	女子	6~12歳	371 ~ 600		
	13歳以上	371 ~ 549	11.6 ~ 16.0		

2 『総合判定区分』及び『コメント』

I-1	糖尿病が(a)	要医学的管理	引き続き専門医を受診してください。
I-2	1項目でも(a)※ I-1除く	要医学的管理	専門医に相談してください。
I-3	(a)は無いが「血圧」「脂質」共に(b)	要医学的管理	専門医に相談してください。
II	(a)は無いが1項目でも(b)	要経過観察	医師や学校の先生・保護者の方などと相談し、バランスのとれた食生活と適度な運動を心がけてください。 6ヶ月~1年後には再検査を受けてください。
III	(a)(b)は無いが1項目でも(c)	要生活指導	バランスのとれた食生活と適度な運動を心がけてください。
IV	(a)(b)(c)は無いが1項目でも(d)	管 理 不 要	今後とも、正しい生活習慣を心がけてください。 ※次回の健診時にいろいろな検査項目の変化にもよく注意してみましょう。
n	すべての項目が(n)	正 常	今回の健診結果では特に異状はありませんでした。 現在のよい状態を続けるよう心がけてください。

3 ヘモグロビンA1cの判定基準

高 値	a	6.5%以上	専門医療機関で精密検査をお勧めします。
	b	6.0~6.4%	医療機関(かかりつけ医、学校医)で再検査(空腹時血糖・ヘモグロビンA1c検査)をお勧めします。
正常範囲	d	5.6~6.4%	正常高値です(2年生は来年度、学校で再検査)。
	n	5.5%以下	正常範囲内です。

【資料2】 定期健康診断疾病異常調査の概要

1 調査の内容

学校保健安全法による定期健康診断の結果から、区立小・中学校の児童生徒の健康実態を把握することを目的に調査を実施している。

(1) 対象

区立小・中学校における令和6年度定期健康診断を受診した児童生徒全員

(2) 項目

学校保健安全法に基づく定期健康診断における検査項目及び、その他、児童・生徒の健康実態を把握するために必要な事項

ア 児童生徒の発育状態 (身長・体重・肥満度)

イ 疾病異常調査 調査項目の詳細については、次頁参照

(3) 期間

令和6年4月～令和7年3月末日（学校保健安全法による定期健康診断実施時期）

(4) 方法

ア 児童生徒の発育状態

C4t h（校務支援システム）にて身体計測（身長・体重）及び肥満度の調査を各小・中学校へ依頼し、集計する。

イ 疾病異常調査 調査項目の詳細については、次頁参照

各小・中学校から「定期健康診断疾病異常調査票」を回収、集計し東京都へ報告する。

※ 疾病異常調査データの集計は、末巻に掲載【資料3（A3版）】

本報告書では、この資料を元に東京都との比較、年次推移等の加工データを掲載している。

学校保健安全法施行規則の一部を改正する省令（平成26年文部科学省令第21号）

平成26年4月30日公布

児童生徒等の健康診断に係る改正規定 平成28年4月1日から施行

【改正に伴う平成28年度からの変更点】

（1）座高的検査について、必須項目から削除

（2）寄生虫卵の有無の検査について、必須項目から削除

（3）「四肢の状態」を必須項目として加えるとともに、四肢の状態を検査する際は、四肢の形態及び発育並びに運動器の機能の状態に注意することを規定すること
→運動器検診の実施

（4）色覚検査について、積極的な周知をし、希望者には適切に検査ができる体制を整えること
→色覚検査を希望者へ実施（小学4年生、中学1年生）

2 令和6年度 定期健康診断疾病異常調査 調査項目

No.	項目	調査内容	調査対象者
1	在籍者数	5月1日現在の学年別在籍者数	全員
2	受診者数	各学年毎の定期健康診断受診者数(以下の3栄養状態、4脊柱胸郭、9皮膚疾患、13その他の各項目をすべて受診した者)	全員
3	栄養状態 (1)栄養不良	学校医により栄養不良で特に注意を要すると判定された者 ※BMI値等ではなく、学校医により判断された者の数を入力する。	全員
4	(2)肥満傾向	学校医により肥満傾向で特に注意を要すると判定された者 ※BMI値等ではなく、学校医により判断された者の数を入力する。	全員
5	脊柱胸郭四肢 疾病・異常者数	以下の(1)脊柱側わん症・脊柱異常、(2)胸郭異常、(3)四肢異常のいずれかが、異常と判定された者の人数 1人が(1)から(3)で複数の異常がある場合は1人と数える	全員
6	(1)脊柱側わん症・脊柱異常	脊柱側わん症、脊柱側わんなど脊柱の異常と判定された者	全員
7	(2)胸郭異常	胸郭異常と判定された者	全員
8	(3)四肢異常	四肢異常と判定された者	全員
9	視力 裸眼視力	裸眼視力を測定した者の数。以下(1)～(4)及び「眼鏡・コンタクト装用者」は裸眼視力を測定した者のみが対象。左右それぞれの測定値の低い方。	全員
10	(1)1.0以上	低い方の視力が1.0以上と判定された者	全員
11	(2)1.0未満0.7以上	低い方の視力が0.9から0.7と判定された者	この4項目の合計が 「裸眼視力測定者」
12	(3)0.7未満0.3以上	低い方の視力が0.6から0.3と判定された者	全員
13	(4)0.3未満	低い方の視力が0.2以下と判定された者	全員
14	(1)～(4)のうち、眼鏡・コンタクト装用者	裸眼視力測定者のうち、眼鏡やコンタクトレンズで視力矯正をしている者	全員
15	眼鏡・コンタクト装用のため矯正視力のみ測定者	眼鏡やコンタクトレンズで視力矯正をしているため、裸眼視力を測定できず、矯正視力のみ測定した者	全員
16	眼疾患 受診者		全員
17	疾病・異常者数	以下の(1)感染性眼疾患、(2)アレルギー性眼疾患、(3)その他の眼疾患のいずれかと判定された者の人数 1人が(1)から(3)で複数の疾患がある場合は1人と数える	全員
18	(1)感染性眼疾患	咽頭結膜炎、流行性角結膜炎、出血性結膜炎と判定された者	全員
19	(2)アレルギー性眼疾患	ここ1年以内に、アレルギー性結膜炎、春季カタル、花粉症などのアレルギー性の眼疾患と判定された者	全員
20	(3)その他の眼疾患	感染性眼疾患、アレルギー性眼疾患以外の眼疾患・異常のある者。疑似トラコーマ、麦粒腫(ものもらい)、眼炎、斜視、睫毛内反(ささまづけ)、先天性の色素不足による金銀眼、片目失明などの疾患・異常と判定された者。また視力低下の原因となる疾患・異常(例えば網膜色素変性、緑内障)を含むが、近視、遠視、乱視などの屈折異常は除く。	全員
21	聴力 受診者		小学1～3年・5年
22	難聴	オージオメーターを使用して検査をした場合、両耳とも1,000ヘルツにおいて30デシベル又は4,000ヘルツにおいて25デシベル相当の音が聴取できない者	中学1年・3年 小学1～3年・5年 中学1年・3年
23	耳鼻咽喉科疾患 受診者		全員
24	(1)耳疾患	難聴以外の耳疾患・異常の者。例えば急性又は慢性中耳炎、内耳炎、外耳炎、メニエール病、耳介の欠損、耳垢栓塞等の疾患・異常と判定された者	全員
25	(2)鼻・副鼻腔疾患	以下の「ア アレルギー性鼻疾患」、「イ その他の鼻・副鼻腔疾患」のいずれかと判定された者の人数 1人がア及びイの両方の疾患がある場合は1人と数える	全員
26	ア アレルギー性鼻疾患	ここ1年以内に、アレルギー性鼻炎、花粉症などの鼻のアレルギー性疾患と判定された者	全員
27	イ その他の鼻・副鼻腔疾患	鼻アレルギー以外の鼻・副鼻腔疾患・異常の者。例えば慢性副鼻腔炎(蓄膿症)、慢性的な症状の鼻炎、鼻ポリープ、鼻中隔わん曲等。ただし感冒による一時的な鼻炎等の疾患・異常と判定された者は除く。	全員
28	(3)口腔咽喉頭疾患	アデノイド、扁桃肥大、咽頭炎、喉頭炎、扁桃炎、音声言語異常などの疾患・異常と判定された者。ただし感冒による一時的な咽頭炎などの疾患・異常と判定された者は除く。	全員
29	皮膚疾患 (1)感染性皮膚疾患	白癬、疥癬、その他の感染性皮膚疾患と判定された者	全員
30	(2)アレルギー性皮膚疾患(アトピー性皮膚炎)	ここ1年以内に、アトピー性皮膚炎と判定された者	全員
31	(3)アレルギー性皮膚疾患(アトピー性皮膚炎以外)	ここ1年以内に、蕁麻疹や薬疹、接触皮膚炎などのアトピー性皮膚炎以外のアレルギー性皮膚疾患と判定された者	全員
32	(4)その他の皮膚疾患	上記、(1)感染性皮膚疾患、(2)アレルギー性皮膚疾患(アトピー性皮膚炎)、(3)アレルギー性皮膚疾患(アトピー性皮膚炎以外)以外の皮膚疾患と判定された者	全員

※令和6年度学校保健統計調査実施通知より

【資料2】 定期健康診断疾病異常調査の概要

No.	項目		調査内容	調査対象者
33	10結核 受診者		結核検診(問診及び学校医による診察)を受けた者の数	全員
34	(1)結核患者		結核患者と判定された者。個人的に医師の診察を受けて結核と診断された者を含む。潜在性結核を除く。	全員
35	(2)精密検査対象者		結核検診の結果、ツベルクリン反応検査、エックス線撮影などの精密検査の対象となった者	全員
36	11心臓 受診者(心電図検査)		心電図検査の受診者数	小学1年 中学1年
37	(1)心臓疾患		心膜炎、心包炎、心内膜炎、弁膜症、狭心症、心臓肥大、その他の心臓疾患・異常の者。心電図異常のみの者は含まない。	全員
38	(2)心電図異常		心電図検査の結果で二次検診の対象となった者	小学1年 中学1年
39	12検尿 受診者			全員
40	(1)尿蛋白検出		第一次検査の結果、尿蛋白が検出された者(判定が陽性(+)以上)	全員
41	(2)尿糖検出		第一次検査の結果、尿糖が検出された者(判定が陽性(+)以上)	全員
42	13その他 (1)気管支喘息		ここ1年内に、気管支喘息と判定された、または医療機関で経過観察管理中の者	全員
43	(2)腎臓疾患		急性及び慢性腎炎、ネフローゼ症候群などの腎疾患と判定された者	全員
44	(3)言語障害		話し言葉の働きに障害のある者をいい、例えば、吃音(どもり)、発音の異常、発声の異常(聞きつき手が理解しにくい程度の発音や声の障害)、口蓋裂、脳性麻痺等に伴う言葉の異常、難聴によるこうがいれつ発音の異常、その他情緒的原因による緘黙症、自閉症や言語中枢に障害のある失語症である。	特別支援学校 以外全員
45	(4)その他の疾病・異常		この調査のいずれの項目にも該当しない疾病・異常	特別支援学校 以外全員
46	14歯科 (1)歯科受診者		歯及び口腔の検査を受けた者の数	全員
47	要観察歯 の状態	(2)う歯・乳歯または永久歯のうち、全部のう歯の処置が完了している者		全員
48		久歯のうち未処置歯のある者		全員
49		ウ 永久歯のう歯経験者		全員
50		エ 乳歯または永久歯に要観察歯のある者		全員
51		(3)歯肉の状態		全員
52		ア 歯周疾患		全員
53		の状態		全員
54		イ 歯周疾患要観察者		全員
55	(4)歯列・咬合の異常		「歯列・咬合」が2と判定された者	全員
56	(5)頸関節の異常		「頸関節」が2と判定された者	全員
57	(6)歯垢の状態		歯に相当の付着がある者をいう。小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び中等教育学校については、各学校種の歯・口腔の健康診断票において、「歯垢の状態」が「2」(相当の付着がある)と判定された者。(歯石含む)	全員
58	(7)その他の歯・口腔の疾病・異常		「その他の歯及び異常」欄に記載のある者 ※むし歯や歯周疾患、歯列・咬合および頸関節以外の歯・口腔の疾患・異常(例えば、口角炎、口唇炎、口内炎、唇裂、口蓋裂(こうがいれつ)、舌小帯異常、だ石、癒合歯、過剰歯、先天性欠如の疑い、エナメル質形成不全等)が該当する。歯石や歯垢は含まない。	全員
59	(8)永久歯のう歯の内容	ア 未処置歯数(D)		未処置歯の数
60		イ う歯による喪失歯数(M)		う歯が原因で脱落したり、抜去した永久歯の本数。 ※外傷や矯正治療のために抜歯した歯及び抜歯理由や欠損の原因が不明のものは対象外なので、抜歯理由をよく確認すること。
61		ウ 処置歯数(F)		処置歯の数
62	15備考			小学6年 中学1年

※「疾病・異常者」の取扱いについて

「疾病・異常者数」の各欄には、学校における健康診断で実施された検査項目で学校医又は学校歯科医が疾病・異常と判定した者の人数を入力します。しかし、アレルギー性眼疾患やアレルギー性鼻疾患、アレルギー性皮膚疾患、喘息などのアレルギー性疾患は必ずしも健康診断時に症状が出ているわけではありません。結核患者、心臓疾患、腎臓疾患等も診察のみでは必ずしも診断できません。

健康診断の結果、疾病・異常と判定されなかったが、医療機関において、医師から疾病・異常と診断されており、その旨を学校で把握している者も「疾病・異常者」として取り扱います。ただし、治療後など、疾病・異常の疑いがなく、単に「経過観察」と判定された場合には、疾病・異常者には計上しません。

【資料3】定期健康診断疾病異常調査 調査データの集計（実数）

単位：人

		男 子									女 子									
		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	
1 在籍者数		2273	2315	2484	2526	2571	2599	2237	2237	2355	2306	2303	2374	2455	2386	2535	2185	2164	2205	
2 受診者数		2248	2274	2444	2487	2515	2525	2147	2112	2194	2283	2287	2348	2417	2347	2478	2117	2030	2042	
3 栄養状態	(1)栄養不良	2	1	2	5	5	3	2	6	1	1	1	1	2	8	4	4	3	3	
	(2)肥満傾向	29	39	75	94	113	133	28	14	25	17	35	46	51	69	68	20	8	14	
4 脊柱胸郭 四肢	疾病・異常者数	13	6	11	8	9	25	35	21	35	6	8	7	6	14	23	29	32	56	
	(1)脊柱側わん症・脊柱異常	4	3	6	3	5	16	21	10	20	2	3	4	4	10	17	23	19	32	
	(2)胸郭異常	1	0	3	1	1	5	3	6	3	3	0	0	2	0	1	1	1	5	
	(3)四肢異常	8	3	2	4	3	4	13	5	12	2	5	3	2	4	5	6	14	22	
5 視力	裸眼 視力	裸眼視力測定者 (1)～(4)の合計	2220	2217	2341	2295	2207	2118	1771	1632	1630	2246	2190	2221	2171	2030	2032	1592	1414	1309
		(1)1.0以上	1526	1503	1504	1340	1257	1138	868	701	710	1540	1412	1302	1167	989	960	718	567	478
		(2)1.0未満0.7以上	421	374	336	351	313	272	278	225	210	422	383	365	318	321	290	244	205	197
		(3)0.7未満0.3以上	230	246	321	364	376	409	354	366	371	240	280	369	394	408	403	380	360	317
		(4)0.3未満	43	94	180	240	261	299	271	340	339	44	115	185	292	312	379	250	282	317
		裸眼視力測定者のうち眼鏡・コンタクト装用者	25	62	73	135	161	207	135	162	177	29	48	91	155	222	288	160	174	196
		眼鏡・コンタクト装用のため矯正視力のみ測定者	36	69	128	218	342	435	415	505	611	53	103	142	265	338	470	552	673	785
6 眼疾患	受診者		2233	2275	2420	2469	2513	2499	2142	2069	2132	2289	2268	2322	2406	2333	2461	2099	1993	2006
	疾病・異常者数		141	156	184	190	200	192	152	190	191	138	115	131	120	114	144	102	126	120
	(1)感染性眼疾患		1	0	1	0	0	0	0	3	2	0	0	0	2	1	1	0	2	0
	(2)アレルギー性眼疾患		90	96	118	128	129	133	109	152	151	72	58	78	68	68	76	73	97	82
	(3)その他の眼疾患		54	61	65	63	72	62	45	37	44	68	57	53	54	46	70	30	29	38
7 聴力	受診者		2260	2290	2464		2546		2198		2253	2304	2299	2361		2370		2160		2100
	難聴		20	10	11		9		13		10	26	22	24		8		13		13
8 耳鼻咽喉 科疾患	受診者		2246	2262	2430	2469	2495	2499	2135	2068	2147	2285	2269	2337	2406	2331	2457	2095	2006	1984
	(1)耳疾患		112	99	97	101	94	95	72	73	69	121	115	87	85	82	79	59	37	54
	(2)鼻・副鼻腔疾患		335	344	369	391	406	362	293	345	287	223	224	198	227	205	235	177	196	184
	ア アレルギー性鼻疾患		190	179	217	255	280	236	234	290	250	132	120	124	156	151	156	139	168	164
	イ その他の鼻・副鼻腔疾患		148	169	152	138	126	127	63	55	37	92	104	76	72	54	79	38	30	23
	(3)口腔咽喉頭疾患		9	7	13	7	6	6	3	3	4	9	7	7	6	12	12	1	2	2
9 皮膚疾患	(1)感染性皮膚疾患		4	2	0	2	1	4	5	6	9	1	0	0	0	0	0	10	6	8
	(2)アレルギー性皮膚疾患(アトピー性皮膚炎)		60	66	60	80	81	70	55	73	55	65	59	62	77	87	67	43	57	46
	(3)アレルギー性皮膚疾患(アトピー性皮膚炎以外)		7	11	7	23	21	13	11	12	12	8	17	7	19	10	11	11	13	20
	(4)その他の皮膚疾患		29	20	20	32	14	16	6	4	4	22	29	16	27	21	25	2	4	3
10 結核	受診者		2255	2296	2461	2509	2543	2561	2175	2136	2232	2296	2298	2364	2442	2366	2505	2140	2064	2100
	(1)結核患者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	(2)精密検査対象者		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11 心臓	受診者(心電図検査)		2255						2172			2297						2123		
	(1)心臓疾患		16	23	8	9	8	7	18	14	7	18	14	6	11	5	18	14	12	5
	(2)心電図異常		59						31			16						17		
12 検尿	受診者		2261	2301	2471	2512	2553	2571	2184	2158	2232	2300	2296	2367	2442	2370	2517	2152	2092	2094
	(1)尿蛋白検出		4	11	11	15	14	39	68	104	93	14	18	16	24	27	46	52	32	28
	(2)尿糖検出		0	3	0	1	2	0	3	2	3	0	3	0	3	4	23	5	2	3
13 その他	(1)気管支喘息		67	61	65	64	76	61	49	58	51	57	56	46	44	47	51	44	44	41
	(2)腎臓疾患		3	1	0	0	4	5	7	8	11	3	5	2	2	7	9	7	9	7
	(3)言語障害		4	11	4	4	6	3	4	2	3	1	8	2	1	0	0	1	3	0
	(4)その他の疾病・異常		20	15	7	10	20	19												

【資料3】 定期健康診断疾病異常調査 調査データの集計（割合）

単位：%

		男 子									女 子									
		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	
1 在籍者数																				
2 受診者数		98.90	98.23	98.39	98.46	97.82	97.15	95.98	94.41	93.16	99.00	99.31	98.90	98.45	98.37	97.75	96.89	93.81	92.61	
3 栄養状態	(1)栄養不良	0.09	0.04	0.08	0.20	0.20	0.12	0.09	0.28	0.05	0.04	0.04	0.04	0.08	0.34	0.16	0.19	0.15	0.15	
	(2)肥満傾向	1.29	1.72	3.07	3.78	4.49	5.27	1.30	0.66	1.14	0.74	1.53	1.96	2.11	2.94	2.74	0.94	0.39	0.69	
4 脊柱胸郭 四肢	疾病・異常者数	0.58	0.26	0.45	0.32	0.36	0.99	1.63	0.99	1.60	0.26	0.35	0.30	0.25	0.60	0.93	1.37	1.58	2.74	
	(1)脊柱側わん症・脊柱異常	0.18	0.13	0.25	0.12	0.20	0.63	0.98	0.47	0.91	0.09	0.13	0.17	0.17	0.43	0.69	1.09	0.94	1.57	
	(2)胸郭異常	0.04	0.00	0.12	0.04	0.04	0.20	0.14	0.28	0.14	0.13	0.00	0.00	0.08	0.00	0.04	0.05	0.05	0.24	
	(3)四肢異常	0.36	0.13	0.08	0.16	0.12	0.16	0.61	0.24	0.55	0.09	0.22	0.13	0.08	0.17	0.20	0.28	0.69	1.08	
5 視力	裸眼	裸眼視力測定者 (1)～(4)の合計	97.67	95.77	94.24	90.86	85.84	81.49	79.17	72.95	69.21	97.40	95.09	93.56	88.43	85.08	80.16	72.86	65.34	59.37
	視力	(1)1.0以上	68.74	67.79	64.25	58.39	56.96	53.73	49.01	42.95	43.56	68.57	64.47	58.62	53.75	48.72	47.24	45.10	40.10	36.52
		(2)1.0未満0.7以上	18.96	16.87	14.35	15.29	14.18	12.84	15.70	13.79	12.88	18.79	17.49	16.43	14.65	15.81	14.27	15.33	14.50	15.05
		(3)0.7未満0.3以上	10.36	11.10	13.71	15.86	17.04	19.31	19.99	22.43	22.76	10.69	12.79	16.61	18.15	20.10	19.83	23.87	25.46	24.22
		(4)0.3未満	1.94	4.24	7.69	10.46	11.83	14.12	15.30	20.83	20.80	1.96	5.25	8.33	13.45	15.37	18.65	15.70	19.94	24.22
		裸眼視力測定者のうち眼鏡・コンタクト装用者	1.13	2.80	3.12	5.88	7.29	9.77	7.62	9.93	10.86	1.29	2.19	4.10	7.14	10.94	14.17	10.05	12.31	14.97
6 眼疾患		眼鏡・コンタクト装用のため矯正視力のみ測定者	1.60	3.02	5.18	8.67	13.42	17.04	18.98	23.63	27.26	2.31	4.49	6.01	10.88	14.27	18.78	25.75	32.25	37.49
	受診者	98.24	98.27	97.42	97.74	97.74	96.15	95.75	92.49	90.53	99.26	98.48	97.81	98.00	97.78	97.08	96.06	92.10	90.98	
	疾病・異常者数	6.31	6.86	7.60	7.70	7.96	7.68	7.10	9.18	8.96	6.03	5.07	5.64	4.99	4.89	5.85	4.86	6.32	5.98	
	(1)感染性眼疾患	0.04	0.00	0.04	0.00	0.00	0.00	0.00	0.14	0.09	0.00	0.00	0.00	0.08	0.04	0.00	0.10	0.00	0.00	
	(2)アレルギー性眼疾患	4.03	4.22	4.88	5.18	5.13	5.32	5.09	7.35	7.08	3.15	2.56	3.36	2.83	2.91	3.09	3.48	4.87	4.09	
7 聴力	(3)その他の眼疾患	2.42	2.68	2.69	2.55	2.87	2.48	2.10	1.79	2.06	2.97	2.51	2.28	2.24	1.97	2.84	1.43	1.46	1.89	
	受診者	99.43	98.92	99.19	/	99.03	/	98.26	/	95.67	99.91	99.83	99.45	/	99.33	/	98.86	/	95.24	
8 耳鼻咽喉 科疾患	難聴	0.88	0.44	0.45	/	0.35	/	0.59	/	0.44	1.13	0.96	1.02	/	0.34	/	0.60	/	0.62	
	受診者	98.81	97.71	97.83	97.74	97.04	96.15	95.44	92.45	91.17	99.09	98.52	98.44	98.00	97.69	96.92	95.88	92.70	89.98	
	(1)耳疾患	4.99	4.38	3.99	4.09	3.77	3.80	3.37	3.53	3.21	5.30	5.07	3.72	3.53	3.52	3.22	2.82	1.84	2.72	
	(2)鼻・副鼻腔疾患	14.92	15.21	15.19	15.84	16.27	14.49	13.72	16.68	13.37	9.76	9.87	8.47	9.43	8.79	9.56	8.45	9.77	9.27	
	ア アレルギー性鼻疾患	8.46	7.91	8.93	10.33	11.22	9.44	10.96	14.02	11.64	5.78	5.29	5.31	6.48	6.48	6.35	6.63	8.37	8.27	
9 皮膚疾患	イ その他の鼻・副鼻腔疾患	6.59	7.47	6.26	5.59	5.05	5.08	2.95	2.66	1.72	4.03	4.58	3.25	2.99	2.32	3.22	1.81	1.50	1.16	
	(3)口腔咽喉頭疾患	0.40	0.31	0.53	0.28	0.24	0.24	0.14	0.15	0.19	0.39	0.31	0.30	0.25	0.51	0.49	0.05	0.10	0.10	
	(1)感染性皮膚疾患	0.18	0.09	0.00	0.08	0.04	0.16	0.23	0.28	0.41	0.04	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.47	0.30	0.39	
	(2)アレルギー性皮膚疾患(アトピー性皮膚炎)	2.67	2.90	2.45	3.22	3.22	2.77	2.56	3.46	2.51	2.85	2.58	2.64	3.19	3.71	2.70	2.03	2.81	2.25	
10 結核	(3)アレルギー性皮膚疾患(アトピー性皮膚炎以外)	0.31	0.48	0.29	0.92	0.83	0.51	0.51	0.57	0.55	0.35	0.74	0.30	0.79	0.43	0.44	0.52	0.64	0.98	
	(4)その他の皮膚疾患	1.29	0.88	0.82	1.29	0.56	0.63	0.28	0.19	0.18	0.96	1.27	0.68	1.12	0.89	1.01	0.09	0.20	0.15	
	受診者	99.21	99.18	99.07	99.33	98.91	98.54	97.23	95.49	94.78	99.57	99.78	99.58	99.47	99.16	98.82	97.94	95.38	95.24	
11 心臓	(1)結核患者	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	(2)精密検査対象者	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	受診者(心電図検査)	99.21	/	/	/	/	/	97.09	/	/	99.61	/	/	/	/	/	97			

令和6年度 足立区学校保健統計書

令和7年12月 発行

発 行 足立区教育委員会

編 集 足立区学校運営部学務課

足立区中央本町1-17-1

電話03-3880-5971